

# 年 報

第 34 号

令和二年度  
(2020 年度)

大阪がん循環器病予防センター

## はじめに

新型コロナ騒動も3年目を迎えた。第6波のピークを過ぎたとはいえ、その下がり方は緩やかであると同時にBA-2とまたまた新たな変異株の波が来そうだ。

この2年間、コロナによる影響は社会のいたるところにみられ、日常生活は一変してきている。働き方もそうだが、密を避けるため各種のイベントは中止となり、ウェブによる会議が多くみられるようになった。医療についてはコロナによる医療ひっ迫が、他の疾病の受診行動にもしわ寄せをもたらし、受診控えや治療の遅れがみられている。そのため一部では、がん患者についても受診の遅れにより、治療効果の芳しくない症例も増えてきていると聞く。がん検診による早期発見早期治療の原則が、二の次になっていることを実感している。毎年40万人近くのがん死亡者数は今後どのように推移していくのか心配だ。昨年夏ごろから検診の大切さが叫ばれ始めたが、検診率はなかなか上がってこない。令和3年度も公開講座は取りやめにして、YouTubeでの配信に切り替え啓発活動を行った。

昨年度は緊急事態宣言も数回出されたが、当センターにおいて検診は中断することなく継続することができた。

がん検診部門においてはコロナ対策に万全を期しながら、精度の高いがん検診を実施してきた。さらに精度管理センターを中心に、市町村が実施する検診事業の実態把握に努めるとともに検診率向上と精度管理について助言指導を行ってきた。

循環器部門については、継続して行っている地域や職域の健診データの解析を行い、効果的な健康指導方法の開発や国保などのビッグデータなど行った。

この度令和2年の事業内容を年報として取りまとめた。ご高覧いただければ幸いです。

令和4年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団

理事長 高 杉 豊

# 目 次

## 総 括 編

I 概 要	1
1 大阪がん循環器病予防センターの沿革	3
2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ	4
(1) 設 立 趣 旨	4
(2) 沿 革	5
3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ	6
(1) 設 立 趣 旨	6
(2) 沿 革	6
II 管 理	7
1 組 織	9
2 理事会・評議員会等の開催状況	10
3 評議員・役員名簿	11
4 幹部職員・職員数	12
5 主要事業開始日	13
6 施設認定および職員の認定資格	14
7 施 設 概 要	15
8 主要備品一覧表	18
9 会 計	24
III 検診・健診事業	27
1 がん検診事業	28
(1) 胃がん検診	30
(2) 子宮がん検診	32
(3) 乳がん検診	34
(4) 肺がん検診	36
(5) 大腸がん検診	37
2 総合健診	39
3 所外健診	40
4 検 査	41
5 医療機関との連携	43
6 精度管理と研修	44
7 循環器病予防活動	47
IV 広 報 活 動	51
1 概 要	52
2 がん予防キャンペーン大阪2020	52
3 マスメディア	52

4	講 師 派 遣	55
5	そ の 他	57
V	受診者満足度調査	59
1	概 要	60
2	アンケート結果についての対応	61
VI	研究及び研究支援	63
1	概 要	64
2	国などの研究班への参加	64
3	各種役員・委員	66
4	学会及び学術集会主催	67
5	学会発表及び学術講演	67
6	研究論文・著書	69
7	受賞及び表彰	74
8	大阪がん予防対策基金	75

---

資 料 編

---

VII	がん検診結果集計資料	83
1	胃 が ん 検 診	
(1)	胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）	84
(2)	胃がん検診結果集計表	85
(3)～(6)	胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	86
(7)	胃がん精検機関別精検受診数	90
(8)	市町村別胃がん検診精密検査機関	91
2	子 宮 が ん 検 診	
(1)	子宮がん検診結果集計表	92
(2)	子宮がん検診結果集計表（年齢階級別）	93
(3)	子宮がん精検機関別精検受診数	94
(4)	市町村別子宮がん検診精密検査機関	95
3	乳 が ん 検 診	
(1)	乳がん検診結果集計表	96
(2)	乳がん検診結果集計表（年齢階級別）	97
(3)	乳がん精検機関別精検受診数	98
(4)	市町村別乳がん検診精密検査機関	99
4	肺 が ん 検 診	
(1)	肺がん検診結果集計表	100
(2)	肺がん検診（CT）結果集計表（性・年齢階級別）	101
(3)	肺がん検診（X線）結果集計表（性・年齢階級別）	102

5 大腸がん検診	
(1) 大腸がん検診結果集計表	103
(2)～(5) 大腸がん検診結果集計表(性・年齢階級別)	104
(6) 大腸がん精検機関別精検受診数	108
(7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関	109
編集後記	110

# 總 括 編



# I 概 要



## 1 大阪がん循環器病予防センターの沿革

大阪がん循環器病予防センターは、大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの統合により平成24年4月1日に発足致しました。

これら2施設の設立の経緯を辿りますと、両者共に大阪府立成人病センターの設立当初からの事業に関わっています。

大阪府立成人病センターは、大阪府の成人病予防行政の一環として、昭和34年9月に、高血圧、心臓疾患、がんなどのいわゆる成人病の予防、早期発見およびこれらの調査、研究等を行い、府内における成人病に関する医療水準の向上を図るための中核施設として設置されました。(大阪府立成人病センター設立の趣旨より抜粋) この目的のために、成人病センターでは設立当初より循環器集団検診事業を、昭和36年より胃集団検診事業を開始しました。

その後、昭和62年に(財)大阪がん予防検診センターが設立され、胃検診部門の検診車集検、施設集検業務が移管されました。

また、平成13年には大阪府立健康科学センター((財)大阪府保健医療財団)が設立され、循環器集団検診事業が移管されました。

平成24年に両センターが統合され、昭和30年代から続けられてきた、大阪府におけるがん予防事業と循環器病予防事業を、再びひとつの施設で行うこととなりました。

以下に統合までの両施設の沿革を掲載します。

## 2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ

### (1) 設立趣旨

がんによる死亡は、年々増加しており、我が国では昭和56年以降死因順位のトップを占めつづけております。この傾向は人口構造の高齢化に伴い今後ますます増加するものと予想され、がん制圧は我が国のみならず人類共通の課題となっております。

大阪府でも昭和46年以降死因のトップを占め、現在、がんで亡くなる人は年間1万2千名を越え、その数は今なお年々増加しております。また、がんは主として中高年齢層をおそい、その及ぼす影響は、本人や家庭ばかりでなく社会にとっても大きな問題であります。このようなことから、がんに対する住民の不安は大きなものがあり、また、がん対策に強い期待がかけられております。

一方、近年の医療の長足の進歩によって、がんについても早期に発見し適切な治療を受ければ、その殆どは治るようになっております。国においても、老人保健事業としてがん検診の一層積極的な推進を図るほか、対がん10か年総合戦略を策定し、がんの本態解明を目指すなど、がん対策には特に力を入れつつあります。

このような状況に応じ、がん対策をより効果的に推進するためには、地域医療機関、高度医療機関、行政等が機能・特色を生かして一層の連携を図り、がんの早期発見を促し、早期治療に結びつけるとともに、がん対策に関し府内全体の水準の向上を図る必要があります。また、がん予防についての府内全域にわたるきめ細かい対応が必要であります。

このようなことから、社団法人大阪府医師会、大阪府が中心となり、府内におけるがん予防活動の推進体として、財団法人大阪がん予防検診センターの設立を検討してきましたが、さらに大阪市も参画・出捐して法人の発足を図り、がん予防に関する知識の啓発普及、各種のがん検診、細胞検査、専門技術者に対する各種の研修、調査研究、その他がん予防に関する必要な事業を行い、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる府民の健康の保持増進と地域保健の向上に寄与しようとするものであります。

(「設立趣意書」より)

## (2) 沿 革

昭和61年10月	財団法人大阪がん予防検診センター 設立認可	平成元年9月	「がん予防キャンペーン大阪'89」 コンピューターによる危険度判定と 保健指導、街頭・店頭キャンペーン、 がん予防テレホンサービスキャプテン システムによるがん予防情報サービス
昭和62年4月	胃がん検診：車検診開始（間接X線 撮影装置10台） 肺がん（所外）検診：4市3町の住民 対象に実施	平成5年2月	「創立5周年記念講演会」開催
4月	大阪がん予防検診センター（建物） を引継ぐ	10月	第47回保健文化賞受賞
5月	細胞診検査、組織診検査業務開始 大阪がん予防検診センター（附属診 療所）開所式典 子宮がん検診：車検診開始（細胞診 検査1台） 三笠宮寛仁親王殿下御夫妻御視察 胃がん検診：施設での集団検診開始 （間接X線撮影装置2台）	平成9年4月	総合健診：施設において大阪市住民 を対象に開始
6月	子宮がん検診：施設での一次、二次 検診開始	6月	総合健診：車検診 職域を対象に 開始（1台）
10月	検診結果のコンピュータ処理開始 胃がん検診：施設での精密検査開始 （胃X線直接撮影装置「FCR 対応」 1台、内視鏡） 乳がん検診：施設での一次検診（視・ 触診）二次検診開始 （乳房X線撮影装置「FCR 対応」1台、 超音波診断装置1台）	11月	施設において禁煙クリニックを開始
11月	「がん予防キャンペーン大阪'87」 街頭・店頭キャンペーン、世界の がん予防ポスター展 「喫煙と健康教育大阪セミナー」開催	平成13年4月	乳がん車検診：超音波検診車をマン モグラフィ検診車に変換、検診開始
昭和63年2月	第1回禁煙コンテスト開催	平成14年6月	肺がん検診：精密検査でヘリカルCT 検 査を開始
3月	昭和62年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（3件）	平成15年3月	がん予防クリニック開設
4月	大腸がん検診：一次検診開始（便潜 血検査）	平成17年4月	肺がん検診：車CT 検診開始 （ヘリカルCT 撮影装置1台、喀痰細 胞診検査）
5月	肺がん検診：施設での一次検診開始 （胸部X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	平成18年4月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（2台）、検診開始 乳がん車検診：デジタルマンモグラ フィ検診車検診開始（1台）
6月	肺がん検診：施設での精密検査開始 （断層X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	6月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
7月	乳がん検診：車検診開始（超音波診 断装置1台）	平成19年3月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
9月	がん危険度セルフチェックキャン ペーン、街頭・店頭キャンペーン、 世界のがん予防ポスター展	平成20年3月	施設検診システム稼働 胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
平成元年3月	昭和63年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（10件）	平成22年3月	肺がん車検診：デジタル化に変換 検診開始
		4月	財大阪府保健医療財団と法人統合
		9月	乳がん車検診：乳がん検診強化の為 デジタルマンモグラフィ検診車購入 （1台）
		平成24年4月	大阪がん予防検診センターと大阪 府立健康科学センターとの事業統合 大阪がん予防検診センターから大阪 がん循環器病予防センターに名称 変更
		平成25年3月	公益財団法人への移行認定
		4月	公益財団法人への移行登記
		平成29年2月	日本人間ドック学会の定める人間ド ック健診施設機能評価に認定
		令和2年10月	デジタルマンモグラフィ検診車更新 （1台）

### 3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ

#### (1) 設立趣旨

大阪府では、従来から他府県に比較して平均寿命が短く、中高年の死亡率が高いこと、特に循環器病やがんによる死亡率が高いことが行政課題となっています。これらの課題の解決のために、府民の健康度の変化を早期に把握し、生活習慣を改善するとともに環境の改善や必要な医療へ繋げていくことが必要となっています。そのためには、科学的根拠に基づく効果的な健康づくり技法の開発、健康情報の普及啓発、指導者育成、実践活動を行う拠点施設が必要であることが強く認識され、健康科学センターの設置へと繋がりました。

#### (2) 沿革

昭和34年に、脳卒中、心疾患、がん等の成人病の研究および対策を確立するため、大阪府では全国に先駆けて、大阪府立成人病センターをオープンし、死因の第一位で国民病と言われた脳卒中の予防を図るため、調査部集検一科を設置しました。当時、脳卒中の原因はおろか死亡や発生の実態すら十分に把握されていない状況でしたが、旧健康科学センター顧問の小町喜男氏が先駆的に循環器病の予防のための疫学研究と実践活動を開始され、さらに集団検診第一部へと発展した組織で活動を展開され、日本の循環器病予防の疫学研究と対策の進展に先導的な役割を果たされてきました。

平成4年には、「大阪府衛生対策審議会」が成人病予防から治療に至る一貫した体制を整備するため、生活習慣に関する専門施設(大阪府立成人病センター、大阪がん予防検診センター、大阪府立公衆衛生研究所)が集中する森ノ宮地区に府民の健康づくりの拠点施設を整備し、これまで以上に積極的な健康づくり施策を推進していくとした「森ノ宮健康ゾーン構想」を打ち出しました。

平成7年には「大阪府森ノ宮健康ゾーン推進計画書」が自治省「リーディングプロジェクト」先導的な地域づくり対策に対する支援、地域総合整備事業債の適用を受けることとなり、健康づくりの拠点施設の設置の実現性が高まりました。

平成8年には、大阪府が「成人病克服おおさか10か年プラン」を策定し、府民の自主的な健康づくり活動の支援を行うため、その拠点施設として、大阪府立成人病センター集団検診第一部等を基盤に、大阪府立健康科学センターを設置することとしています。

平成13年には、2月議会で設置条例が可決され、3月に本体建物が竣工し、4月には(財)大阪府保健医療財団へ管理運営を委託して、7月に大阪府立健康科学センターとしての事業を開始しました。

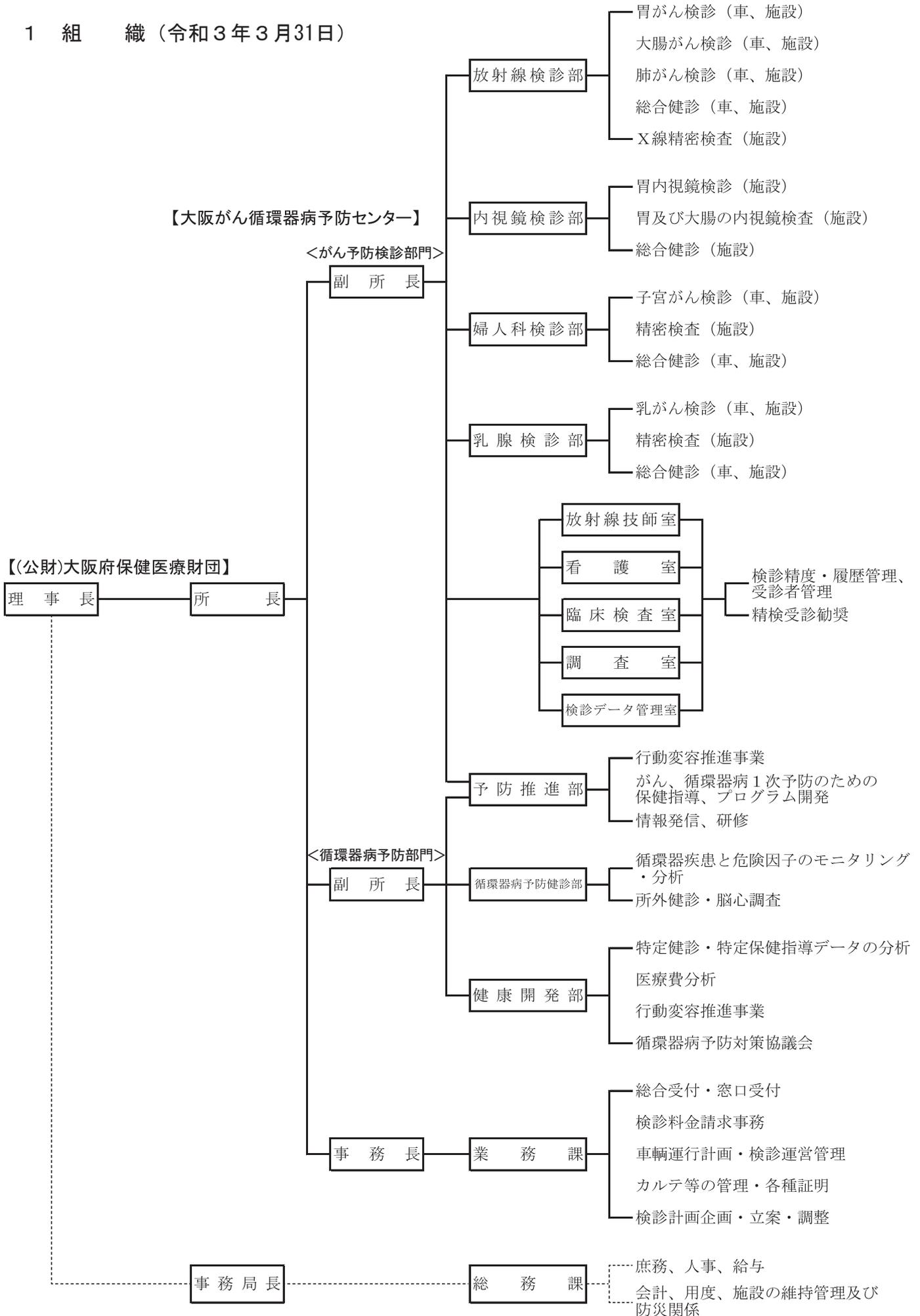
平成20年には、大阪府の財政非常事態宣言で財政再建プログラム素案が出され、大阪府立健康科学センターの廃止が提示されましたが、府民はもとより全国から存続嘆願の署名22,320人が集まり、知事に提出され、廃止案は後退しました。しかし、同プログラム案で、運動フロアでのフィットネス、展示施設の廃止、健診事業の内容精査、(財)大阪がん予防検診センターと統合の方針が出され、さらに府派遣職員の全員引揚げ方針が出された結果、組織・財源の大幅な見直しが行われました。

平成23年9月議会で、平成23年度末で大阪府立健康科学センターの公の施設としては廃止する条例が可決され、平成24年度から、大阪府立健康科学センターと大阪がん予防検診センターの統合による新センターが設置されることとなりました。

# II 管 理



1 組 織 (令和3年3月31日)



## 2 理事会・評議員会等の開催状況

【第304回理事会】 令和2年6月12日

- ・議案
  - 第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 定時評議員会の招集の件
- ・報告事項 令和元年度における職務執行状況について

【第305回理事会】 令和3年3月22日

- ・議案
  - 第1号議案 令和2年度収支予算書補正の件
  - 第2号議案 令和3年度事業計画の件
  - 第3号議案 令和3年度収支予算書の件
  - 第4号議案 臨時評議員会の招集の件
- ・報告事項 令和2年度における職務執行状況について

【令和2年度定時評議員会】 令和2年6月30日

- ・議案
  - 第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員候補者の推薦の件
  - 第3号議案 理事の辞任に伴う補欠の理事の選任の件
- ・報告事項 第304回理事会の概要について

【令和2年度臨時評議員会】 令和3年3月31日

- ・議案
  - 第1号議案 令和2年度収支予算補正の件
  - 第2号議案 令和3年度事業計画の件
  - 第3号議案 令和3年度収支予算の件
- ・報告事項
  - (1) 第305回理事会の概要について
  - (2) 令和2年度の経営目標達成状況等について

### 3 評議員・役員名簿

[評議員名簿]

(令和3年3月31日現在)

名 称	氏 名	摘 要
評 議 員	磯 博 康	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	太 田 謙 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
評 議 員	佐々木 洋	一般社団法人 大阪府病院協会 会長
評 議 員	祖父江 友 孝	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	藤 井 睦 子	大阪府健康医療部長
評 議 員	茂 松 茂 人	一般社団法人 大阪府医師会 会長
評 議 員	新 谷 憲 一	大阪市健康局長
評 議 員	乾 英 夫	一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長
評 議 員	松 浦 成 昭	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長

[役員名簿]

(令和3年3月31日現在)

名 称	氏 名	所 属
理 事 長	高 杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団
理 事	伊 藤 壽 記	大阪がん循環器病予防センター 所長
理 事	福 島 俊 也	大阪府医療監
理 事	川 勝 洋 一	大阪市健康局健康推進部長
理 事	長 井 詳 昭	公益財団法人 大阪対がん協会 専務理事
理 事	北 村 良 夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事
理 事	高 田 俊 明	一般社団法人 大阪府病院協会 常任理事
理 事	伊 藤 憲 一 郎	一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長
理 事	吉 岡 慎 郎	一般社団法人 大阪府歯科医師会 常務理事
監 事	蒲 生 武 志	公認会計士
監 事	南 部 英 幸	元大阪府会計管理者

#### 4 幹部職員・職員数

[幹部職員]

(令和3年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
所 長	伊 藤 壽 記
副 所 長 兼 乳 線 検 診 部 長 兼 検 診 デ ー タ 管 理 室 長	和 田 公 子
副 所 長 兼 循 環 器 病 予 防 健 診 部 長	木 山 昌 彦
婦 人 科 検 診 部 長	杉 田 道 夫
放 射 線 検 診 部 長 兼 総 合 健 診 部 長	欠 員
内 視 鏡 検 診 部 長	石 田 哲 士
予 防 推 進 部 長	岡 田 武 夫
健 康 開 発 部 長	清 水 悠 路
放 射 線 技 師 室 長	三 浦 一 利
看 護 長	前 田 智 聰
臨 床 検 査 室 長	西 山 ひ ろ み
調 査 室 長	池 宮 城 賀 恵 子
事 務 長	山 添 千 登 勢

[常勤職員数 (現員)]

(令和3年3月31日現在)

職 種	職 員 数
医 師	6
診 療 放 射 線 技 師	11
臨 床 検 査 技 師	5
看 護 師	14
保 健 師	4
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	1
事 務	9
運 転 手	1
合 計	51

## 5 主要事業開始日

事業区分		開始日	
胃がん検診	車検診	昭和62年 4月 1日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 5月19日
		精密検査	昭和62年10月 5日
子宮がん検診	車検診	昭和62年 5月12日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 6月 2日
		精密検診	昭和62年 6月 2日
乳がん検診	車検診	昭和63年 7月 4日	
	施設検診	一次検診	昭和62年10月 8日
		精密検診	昭和62年10月 8日
肺がん検診	車検診(胸部X線車)		平成11年 4月16日
	車検診(ヘリカルCT車)		平成17年 4月11日
	施設検診	一次検診	昭和63年 5月11日
		精密検査	昭和63年 6月14日
大腸がん検診	一次検診(郵送方式)		自 昭和63年 4月 1日 至 平成 4年 3月31日
	車検診(胃と同時検診)		平成 4年 6月10日
	施設検診	一次検診	平成 4年 4月 1日
		精密検査	平成 4年 7月13日
総合健診	車検診	平成10年 6月 4日	
	施設検診	一次検診	平成 9年 4月 1日
		精密検査	平成10年 6月25日
特定保健指導		平成21年 4月 1日	
細胞診・組織診検査		昭和62年 5月 6日	

## 6 施設認定および職員の認定資格

### (1) 施設認定

- ・日本臨床細胞学会 細胞診認定施設
- ・日本臨床細胞学会 教育研修認定施設
- ・日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床細胞学会コントロールサーベイ
- ・全国労働衛生団体連合会  
腹部超音波検査精度管理調査優評価  
胃X線検査精度管理調査優評価
- ・CDC/CRMLNによる総コレステロール等の  
国際標準化プログラム合格機関
- ・日本人間ドック学会 機能評価認定施設

### (2) 職員の保有する認定資格

#### 【医師】

##### (医療法に基づく広告可能な専門医資格)

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科専門医
- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医

##### (その他の専門資格)

- ・日本外科学会 外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
- ・日本移植学会 認定医
- ・日本統合医療学会 統合医療指導医
- ・日本補完代替医療学会 補完代替医療学識医
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本超音波医学会 超音波指導医
- ・日本消化器がん検診学会 認定医・指導医
- ・日本がん検診診断学会 認定医
- ・日本人間ドック学会  
人間ドック健診認定医  
人間ドック健診専門医  
人間ドック健診指導医
- ・日本乳癌学会 認定医
- ・社会医学系専門医協会 社会医学系指導医・専門医
- ・日本公衆衛生学会 認定専門家
- ・日本医療情報学会医療情報技師育成部会認定  
上級医療情報技師育成指導者  
医療情報技師育成指導者
- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
マンモグラフィ読影認定医師  
超音波認定医師

- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・International Academy of Cytology Fellow(FIAC)

#### 【診療放射線技師】

- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
検診マンモグラフィ撮影技術認定
- ・日本診療放射線技師会  
ADVANCED R. T. (アドバンスド診療放射線技師)  
業務拡大に伴う統一講習会認定
- ・肺がんCT検診認定機構  
肺がんCT検診認定技師
- ・日本消化器がん検診精度管理評価機構  
胃がんX線検診読影部門B資格検定
- ・ピンクリボンアドバイザー
- ・日本消化器がん検診学会 大腸CT検査技師認定

#### 【臨床検査技師】

- ・日本臨床細胞学会 国際細胞検査士
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士
- ・日本超音波医学会 超音波検査士  
(健診・循環器・体表臓器・消化器)
- ・日本臨床検査同学院 二級臨床検査士(病理)
- ・J A B T S (乳房超音波認定)

#### 【看護師】

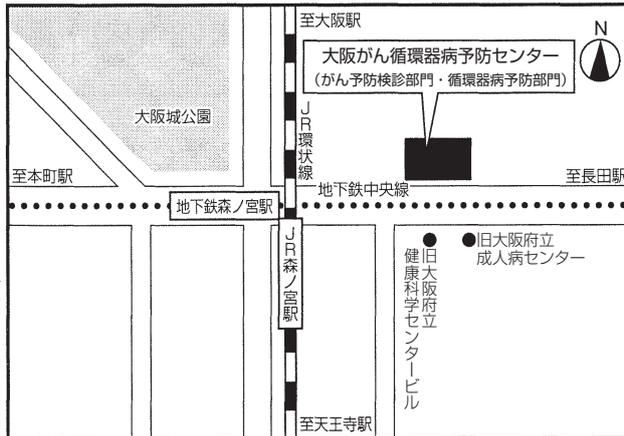
- ・日本消化器内視鏡学会 認定消化器内視鏡技師
- ・第一種 衛生管理者
- ・介護支援専門員
- ・3学会合同呼吸療法認定士  
(令和3年3月現在)

## 7 施設概要

### ○ がん予防検診部門・循環器病予防部門

- 所在地 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
- 設立 昭和61年10月
- 階数 地下1階 地上6階—一部7階
- 面積 2,178.51㎡
- 延床面積 5,208.57㎡（車庫棟含む）

施設配置図



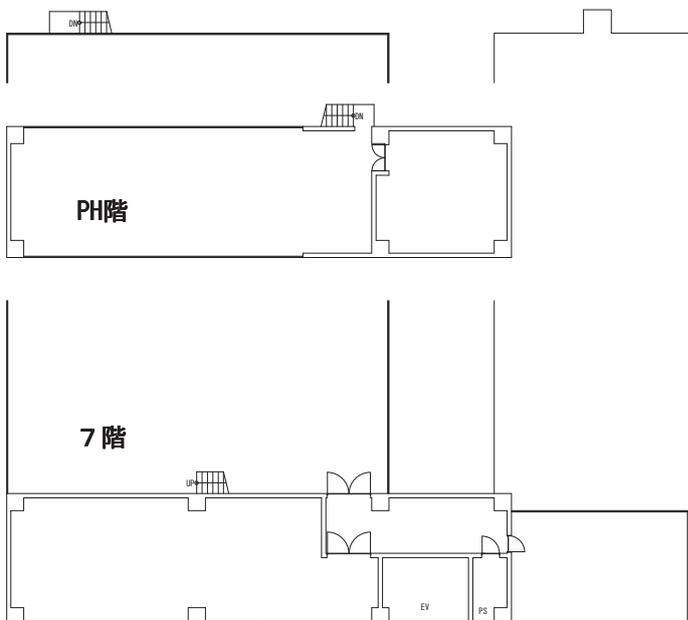
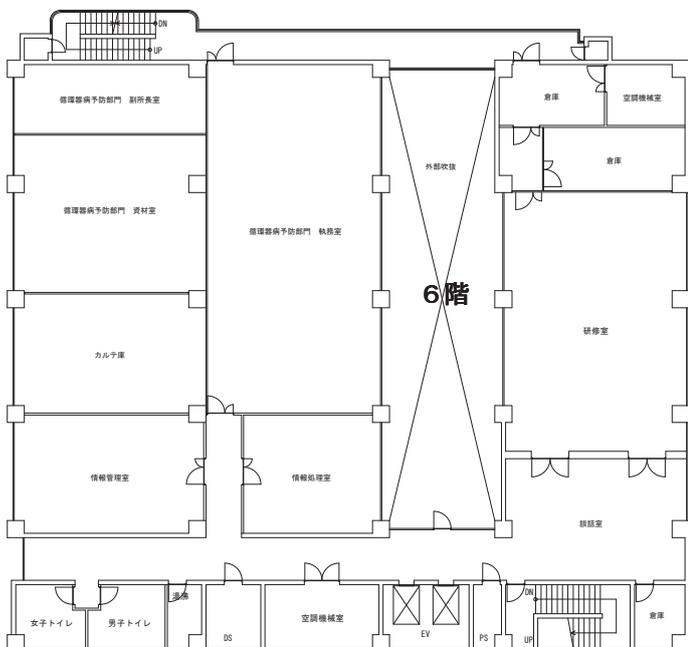
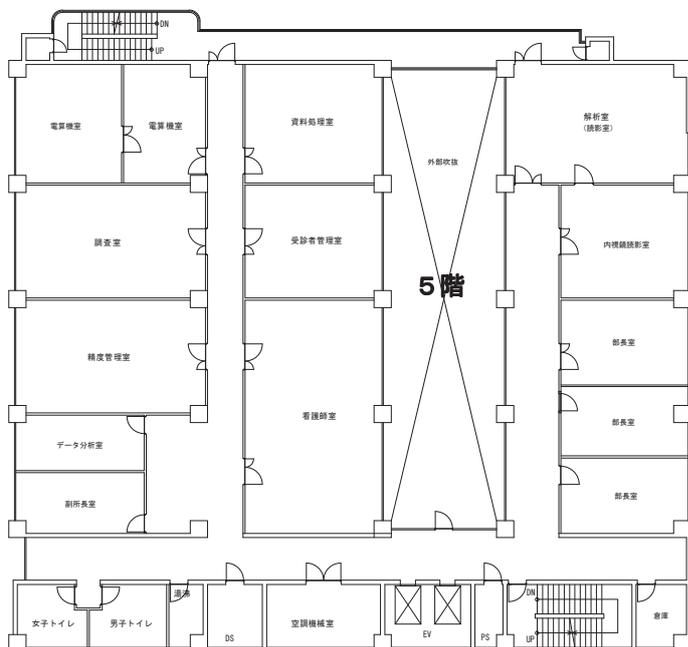
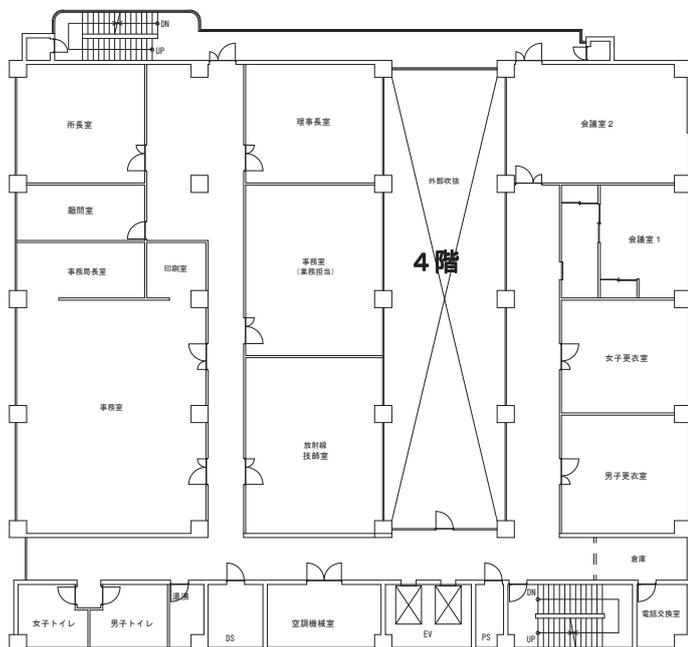
※ JR環状線「森ノ宮」下車

※ 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車④号出口東へ徒歩2分

7階	機械室
6階	循環器病予防部門（副所長室・資材室・執務室）・情報管理室・情報処理室・カルテ室・研修室
5階	副所長室・部長室・看護室・読影室 電算機室・調査室・検診データ管理室
4階	事務室・理事長室・所長室・技師室 会議室
3階	総合健診室・標本作製室・部長室
2階	X線撮影室・内視鏡室・診察室
1階	ロビー・待合室・受付・診察室・問診室
B1階	機械室

(3) 各階配置図





## 8 主要備品一覧表

### 主要備品

[1F 婦人科及び診察室関連]

(令和3年3月31日現在)

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
心電計	1	フクダエム・イー 503FB	S62年5月
ヒステロスコープ	一式	トーイツ HS-401	〃
ヒステロファイバースコープ (専用カメラ付、専用光源付)	1	富士写真 HYS-F FG-110H FIL-FS	〃
ワイサップコアグレーター	一式	ワイサップ社	S62年6月
吊下式アーム型ステレオколポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H8年2月
医事会計システム	1	富士通ビジネスシステム HOPE/ST-3230	H8年9月
全自動身長体重計	1	ウエダ製作所 ユーウェル2	H10年3月
吊下式アーム型ステレオколポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H11年12月
超音波診断装置	1	東芝 ECCOCEE SSA-340白黒	H12年3月
超音波診断装置 (車搭載用)	1	東芝 DYRO-US	H13年3月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 SPA-750型	H17年3月
電動検診台	1	トーイツ セリーナ800R	〃
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-371E	H18年3月
電動検診台	1	タカラベルモント DG-7000E	〃
超音波診断装置	1	持田シーメンス C-3000	H19年1月
全自動血圧計	2	エルクエスト UDEX-Twin タイプII	H20年1月
磁気カードリーダー	1	富士通 3150R-USB	H22年7月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-100N	H23年4月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年2月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-WS110	H27年1月
колポスコープ	1	オリンパス コルポスコープ OCS-500	H27年12月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-271E	H28年2月
婦人科半導体レーザー	1	飛鳥メディカル社製 ADL-20	H28年3月
超音波診断装置	一式	シーメンス社製 SONOVISTA FXRE	H30年3月
OCRスキャナー	1	富士通(株) fi-7480	R1年9月
肺精検用モニター	一式	富士フイルム社製 3M2面参照用ビューワ等	R1年12月
小型採血管準備装置	1	テクノメディカ BC-ROB007	R2年3月

## 〔2 F レントゲン室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
胸部ファントーム	1	アルダーソン社 XA-209型	S62年 5月
ファントーム (胃)	1	BMU-1型	〃
胸部X線撮影装置	1	東芝メディカル KX0-50F	S63年 4月
自動現像機	1	富士フィルムメディカル CEPROS-M2	H11年 4月
X線出力アナライザー	1	ビクトリン社 6000B型 NERO	H15年 4月
線量計 (500型プローブ3本)	1	ビクトリン社 ラドコン線量計	〃
内臓脂肪CTソフト	1	東芝メディカル Fat Scan	H19年 3月
ポータブル濃度計	1	伊原テクニク TM-S	H19年 6月
骨密度連携システム	1	富士通	H22年 3月
乳房X線撮影装置	一式	富士メディカルシステム アミュレット	H22年 3月
富士医用画像情報システム	1	富士フィルムメディカル SYNAPSE STD 一式	H24年 3月
放射線管理システム	一式	DELL	〃
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (6TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C形	H25年 3月
線量計 ACCU-GOLD	1	Radcal 社	〃
線量計 (イオンビームチェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6型	〃
給茶器	1	東芝製 HTP-360 MIPB-0	H25年 7月
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (5TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C形	H25年 9月
全身用X線CT装置	1	シーメンス・ジャパン製 ハイエンド画像診断装置	H26年 3月
線量計 (CTDI 用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-3CT 型	〃
線量計 (マンモ用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6M 型	H26年12月
医用X線高電圧装置	一式	キヤノン社製 KX0-50SS	H30年 3月
超音波骨密度測定装置	2	日立製作所製 AOS-100SA	H30年 9月
島津 FPD 搭載アイト方式 X線 TV システム	1	島津製作所製 SONIALVISION	H31年 4月

## 〔2 F 内視鏡室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
内視鏡検診台	4	タカラベルモント TR-83	S62年 9月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260	H15年 4月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H15年 4月
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H16年 4月
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H16年4月
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H18年1月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260N	H19年3月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H19年4月
内視鏡用汎用トロロー	1	オリンパス WM-NP-1	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H19年9月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H20年3月
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス GIF-P260NS	H22年3月
内視鏡ビデオスコープ	2	オリンパス GIF-PQ260	〃
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス PCF-Q260AI	〃
医療用画像情報システム(内視鏡)	5	オリンパス IT-1	〃
医療用吸引装置	1	オリンパス KV-5	H24年10月
AED装置	1	ハートスタート FR2	H25年2月
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVN-2701	H28年6月
内視鏡用DICOMコンバータ	4	富士フイルム社製 VT-318D	H30年3月

[3F検査・総合検診室関連]

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ギムザ染色装置(細)	1	サクラ精機 RSG-50	S62年5月
クリオスタット	1	ライヘルト社 クライオカットE	〃
顕微鏡カラーテレビシステム	一式	ニコン	〃
顕微鏡側光装置	1	ニコン P-1システム	〃
自動現像機	1	甲南電気 オートデベ6型	〃
純水装置	1	オルガノ オスモクリア R0-100	〃
生物顕微鏡	13	ニコン	〃
マルチティーチングマイクロスコープ	2	ニコン XB-MTH-21	〃
落射蛍光・位相差顕微鏡	一式	ニコン FX-1	〃
落射蛍光システムパソコン	一式	PC-9801 VX41	S63年3月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ファインビューア	1	富士レビオ 300800	H4年5月
ファステック	1	富士レビオ 104	H6年6月
マイコン心電計	1	フクダ電子 FCP-4720	H10年3月
尿自動分析装置	1	栄研化学 US-2100	H10年5月
デジタルフィルムレコーダ（富士通パソコン付）	1	ラサー グラフィックス LFR Plus	H13年4月
パラフィン包埋ブロック作成装置	1	千代田製作所 ティシュー・テック TECS	H13年9月
細胞診業務支援システム	1	ニコインステック	H14年2月
小型高圧蒸気滅菌器	1	サクラ ACV-3023	H15年6月
電子スピロメーター	1	ミナト医科学 システム7	H17年3月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-F	H18年3月
遺伝子増幅装置	1	アプライドバイオシステム Gene Amp PCR System9700	H19年10月
オージオメーター	1	リオン AA-S6	〃
ゲル読影装置	1	アトーププリントグラフ AE-6932CXCF-U	〃
デジタル眼底カメラ	1	キャノン CR-1	H20年12月
乳腺超音波装置	1	日立メディコ EUB-7500	H21年3月
乳腺比較読影システム	1	GE 横河メディカル Prefetch	〃
腹部エコー	1	東芝メディカル Nemio XG	H21年5月
医療用画像情報システム（腹部エコー2台）	2	富士フィルムメディカル synapse	H22年3月
デジタルマンモ装置	1	富士フィルムメディカル AMULET	〃
乳腺超音波カードリーダー	1	日立メディコ PDC-816	〃
腹部エコー	2	GEHealthcare LOGIO P5	〃
乳腺超音波診断装置	1	日立メディコ EVB-7500	H22年11月
自動染色封入装置	1	グリーンホスピタルサプライ	H23年3月
バイオメディカルフリーザ	1	エルクコーポレーション MDF-U730M	〃
薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MDF-U730M	H23年9月
心電図サーバー	1	フクダ電子 EFS-8000	H24年3月
超音波ピペット洗浄機	1	シャープマニュファクチャリング UT-55	〃
臨床化学自動分析装置	1	東芝メディカルシステムズ TBA-2000FR	〃
マンモグラフィ専用パソコン	1	DELL optiplex990 ミニタワー	H25年1月
便潜血測定装置 OC センサー DIANA250	1	栄研化学 OC センサー DIANA250タイプ	H25年3月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年6月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	一式	GE ヘルスケアジャパン LOJIQE9	H25年9月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	1	GE ヘルスケアジャパン LOJIQe	〃

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ニコン顕微鏡	1	ニコン エクリプス Ci-L	H27年1月
椅子型電動診察台	1	タカラベルモント製 イクスフィール	〃
解析付心電計	1	フクダ電子 FCP-8800	H27年3月
密閉式自動固定包埋装置	1	サクラファインテック ETP ティッシュ・テック	〃
自動視力計	1	ニデック社製 NV-350-N	H27年6月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 F1-271E	H28年2月
オートスパイロメータシステム	一式	メディセオ S7WNRD	H28年4月
全自動身長体重計	1	エー・アンド・ディ AD-6228A	H29年1月
デジタル無散眼底カメラ	一式	キャノン社製 CR-2 AF	H30年3月
オージオメーター	1	リオン AA-58	H30年3月
超音波診断装置	1	キャノン製 腹部エコー Xario100Platinum	H31年1月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	〃
バードマグナム（自動生検装置）	1	㈱メディコン製 MG1522	R1年5月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	R2年3月

〔4 F 事務局関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
コピー機	1	リコー MP6000RC	H22年3月
PCA 法人給与経理システム	1	NEC デスクトップ MKL36/B-5	R1年9月
リソグラフ	1	理想科学工業製 オルフィス FW2230	H31年4月
封書・ハガキ圧縮機	1	トッパン・フォームズ PRESSE Core	R3年3月

〔5 F 検診解析及び調査部関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
次期基本システム（基本設計）	一式	富士通	H20年3月
総合検診システム	一式	富士通	H24年3月
検診システム（追加分）	一式	富士通	H25年3月
健診システム（健太くん）	一式	ミエデン Win10移行作業	R2年3月

[検診車]

検診車名	メーカー・型式	取得年月日
デジタル胸部X線検診車(すこやか1号) (大阪府から無償貸与)	日野・KC-RR1JJAA	H11年3月24日
肺がんヘリカルCT検診車 (大阪府から無償貸与)	日野・KS-FWIEXWG 改	H17年1月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(1号車)	日野・ADG-FE8JPWG	H18年2月6日
デジタル胃X線検診車(1号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月24日
デジタル胃X線検診車(2号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月29日
デジタル胃X線検診車(12号車): 岸和田 HC	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年6月7日
デジタル胃X線検診車(8号車): 八尾 HC	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
婦人科検診車	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(2号車)	日野・BDG-FE8JPWG 装置載せ替え	H22年9月30日 R3年1月18日
デジタルマンモグラフィ検診車(1号車)	日野・BDG-FE2AB	R2年10月22日

## 9 会 計

### 貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
流動資産合計	186,230,906	22,306,874
2. 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産合計	22,000,000	0
(2)特定資産		
特定資産合計	494,504,547	0
(3)その他固定資産		
その他固定資産合計	375,094,504	2
固定資産合計	891,599,051	2
資 産 合 計	1,077,829,957	22,306,876
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
流動負債合計	186,300,325	13,129,094
2. 固定負債		
固定負債合計	490,955,081	0
負 債 合 計	677,255,406	13,129,094
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 指定正味財産	266,442,340	0
(うち基本財産への充当額)	( 22,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 221,942,340)	( 0)
2. 一般正味財産	134,132,211	9,177,782
(うち特定資産への充当額)	( 69,562,207)	( 0)
正味財産合計	400,574,551	9,177,782
負債及び正味財産合計	1,077,829,957	22,306,876

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	290,416	0
特定資産運用益	2,802,611	0
事業収益	775,785,713	16,062,742
受託事業収益	61,611,819	90,846,365
受取補助金等	3,500,000	0
雑収益	24,474,680	3,903,866
経常収益計	868,465,239	110,812,973
(2) 経常費用		
事業費	883,868,491	104,574,324
経常費用計	883,868,491	104,574,324
当期経常増減額	△15,403,252	6,238,649
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
固定資産除却損	2	0
指定正味財産への繰入金	0	0
経常外費用計	2	0
当期経常外増減額	△2	0
当期一般正味財産増減額	△15,403,254	6,238,649
一般正味財産期首残高	149,535,465	2,939,133
一般正味財産期末残高	134,132,211	9,177,782
II 指定正味財産増減の部		
受取補助金	25,000,000	0
受取寄付金	7,210	0
一般正味財産への振替額	△2,500,000	0
当期指定正味財産増減額	22,507,210	0
指定正味財産期首残高	243,935,130	0
指定正味財産期末残高	266,442,340	0
III 正味財産期末残高	400,574,551	9,177,782



### Ⅲ 検診・健診事業

## 1 がん検診事業

当センターで実施している検診には、市町村や企業等からの依頼を受け、検診車を派遣して実施する巡回検診（以下「車検診」という。）と、施設内において行う検診がある。

車検診は、胃がん検診車4台、子宮がん検診車1台、乳がんマンモグラフィ検診車2台、胸部エックス線検診車1台で実施している。

施設検診は、胃がん検診（一次検診、精密検査）、子宮がん検診（一次検診、精密検査）、乳がん検診（一次検診、精密検査）、肺がん検診（一次検診、精密検査）、大腸がん検診（一次検診、精密検査）を実施している。

表1に検診項目別の検査件数を示した。一次検診の結果、要精密検査と判定された者については本人の希望に沿い地域の医療機関を紹介し、又は当センターにおいて精密検査を実施している。

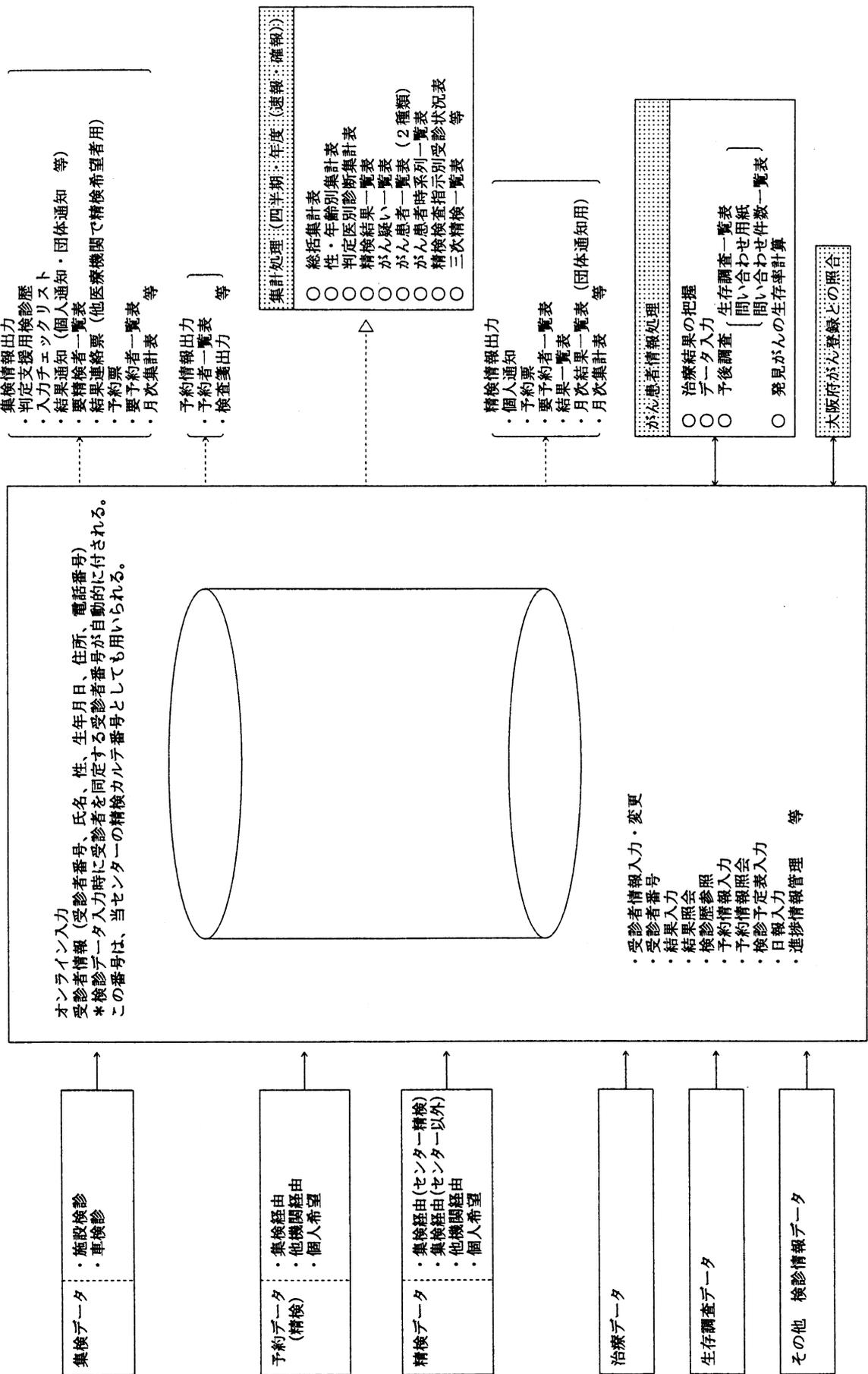
なお、当センターの精密検査において治療が必要と診断された者については、当センターは治療設備をもたない検診専門機関であるため、本人や家族と相談した上で適切な医療機関を紹介している。

受診者のデータの管理や結果通知・集計等の作業、並びに受診団体と協力しての精検未受診者に対する受診勧奨や、がん患者の追跡調査等にはコンピュータを活用している。図1に胃がん検診を例としてコンピュータ処理の概要を示した。

表1 検査件数

検 診 項 目			検 査 件 数 (延べ数)	
			令和2年度	前 年 度
胃がん検診	一 次 検 診	車 検 診	19,386	27,100
		施 設 検 診	10,567	11,038
	精 密 検 査		1,822	2,598
	小 計		31,775	40,736
子宮がん検診	一 次 検 診	車 検 診	7,998	10,677
		施 設 検 診	6,591	6,537
	精 密 検 査		1,279	1,403
	小 計		15,868	18,617
乳がん検診	一 次 検 診	車 検 診	11,351	13,486
		施 設 検 診	7,435	7,830
	精 密 検 査		2,652	2,678
	小 計		21,438	23,994
肺がん検診	一 次 検 診	車 検 診	11,115	13,348
		施 設 検 診	8,957	9,669
	精 密 検 査		1,425	1,693
	小 計		21,497	24,710
大腸がん検診	一 次 検 診	車 検 診	18,496	24,255
		施 設 検 診	13,126	13,420
	精 密 検 査		3	11
	小 計		31,625	37,686
が ん 検 診 合 計			122,203	145,743

図1. 大阪がん循環器病予防センターのがん検診情報処理の概要（胃がん検診を例として）



## (1) 胃がん検診

胃がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（主としてX線8枚撮影によるスクリーニング）と精密検査（胃X線16枚撮影並びに胃内視鏡検査及び生検）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

令和2年度の受診者総数は29,953人、車検診受診者数19,386人、施設検診受診者数10,567人であった。

車検診は、胃がん検診車4台を保有し、当センターの敷地内に4台（1, 2, 8, 12号車）を配置して、主に近隣の地域の市町村や職域等の集団検診を実施している。

令和2年度の稼働回数は検診車4台合計で延べ608回であった。

表2に車検診、施設検診別の胃がん検診の成績を示した（月毎の実績は資料1(1)、P84を参照）。

令和2年度受診者29,953人のうち、要精密検査と判定された者は1,868人で、要精密検査率は6.2%であった。精密検査受診率は87.6%、発見胃がん患者は30人、うち早期胃がんは26人、発見率は、受診数に対して各々0.10%、0.09%であった。

当センターでは、昭和62年度開設当初より検診の胃X線間接写真の読影・判定に異時ダブルチェックを行ってきた。2度目の読影医師は、1度目の読影医師が「異常なし」と判定したのについてその情報を知った上で読影し「要精密検査」とすべきものを追加する異時ダブルチェック方式を採用している。

令和2年度胃X線検査での要精密検査数は1,814人であったが、このうち1,270人が1度目の読影で要精密検査と判定され、544人が2度目の読影で要精密検査と判定されたものであった。

検診発見胃がん28人のうち2度目の読影でチェックしたものは5人、このうち早期胃がんは5人であった（資料1(2)の末尾、P85）。

表3には検診対象別の胃がん検診の成績を示した。府内市町村が実施主体となり、地域住民を対象として行った胃がん検診数は27市町村の19,390人であった（資料1(2)、P85）。

これに対し、事業所等職域を対象として行った胃がん検診数は136団体8,097人、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った胃がん検診数は117人であった（資料1(2)、P85）。

当センターで精密検査を受診する精密検査実施割合は地域で10.7%、職域で47.4%、総計では17.9%を占めていた（資料1(7)、(8)、P90、P91）。

表2 胃がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	受診者数	要精密検査者		精密検査受診者		胃がん		うち早期がん		
		人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	1号車	4,964	357	7.2	319	89.4	3	0.06	2	0.04
	2号車	5,099	359	7.0	316	88.0	8	0.16	7	0.14
	8号車	5,004	410	8.2	364	88.8	8	0.16	8	0.16
	12号車	4,319	399	9.2	340	85.2	7	0.16	5	0.12
施設検診	10,567	343	3.2	298	86.9	4	0.04	4	0.04	
合計	29,953	1,868	6.2	1,637	87.6	30	0.10	26	0.09	
前年度計	38,138	2,132	5.6	1,875	87.9	40	0.10	28	0.07	

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 施設検診には、内視鏡検診分を含む。

表3 胃がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受 診 者 数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		胃 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和2年度	19,390	1,464	7.6	1,294	88.4	27	0.14	23	0.12
	前年度	27,469	1,839	6.7	1,626	88.4	37	0.13	25	0.09
職 域	令和2年度	8,097	341	4.2	286	83.9	1	0.01	1	0.01
	前年度	7,961	261	3.3	222	85.1	1	0.01	1	0.01
検 診 友の会等	令和2年度	117	9	7.7	9	100.0	0	0	0	0
	前年度	145	4	2.8	3	75.0	0	0	0	0

注) 表2に同じ。大阪市個別検診及び総合健診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、当センター実施の集団検診の要精検者、並びに他の集検機関及び医療機関からの紹介者を対象に実施している。

表4に胃がん検診の精密検査件数を示した。X線直接撮影による検査は7件、内視鏡による検査

は1,815件、この内生検による病理組織診検査は266件であった。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの紹介者は91人であった（表5）。

表4 胃がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和2年度	前 年 度
X 線 直 接 撮 影	7	19
内 視 鏡 (うち、生検実施)	1,815 (266)	2,579 (218)
合 計 (うち、生検実施)	1,822 (266)	2,598 (218)

表5 胃がん 精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	胃 が ん (うち早期がん)	胃 腺 腫 胃ポリープ	胃 潰 瘍	そ の 他	異 常 な し
集検機関	40	0(0)	7	0	31	2
医師紹介	4	0(0)	1	0	2	1
個 人	47	2(2)	10	0	34	1
合 計	91	2(2)	18	0	67	4

## (2) 子宮がん検診

子宮がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（細胞診によるスクリーニング等）と精密検査（細胞診、組織診、コルポスコピー等）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

車検診は、子宮がん検診車1台を保有し、大阪府内全域の市町村や職域等の検診を実施している。令和2年度の稼働回数は延べ148回であった。

表6に車検診、施設検診別の子宮がん検診の成績を示した。令和2年度の受診者数は車検診の頸部がん検診が7,998人、施設における頸部がん検診受診者が6,574人（うち174人が体がん検診も受診）であった。

当センターで実施した一次検診受診者総数は頸部がん検診14,572人、体部がん検診174人で、この内要精密検査（二次検診）となった者は頸部がん検診が280人、要精検率は1.9%、体部がん検診が2人、要精検率は1.1%であった。

頸部がん検診の精密検査受診者は255人で、受診率は91.1%、体部がん検診の精密検査受診者は2人で受診率は100%であった。発見した頸部がん患者は5人、体部がん患者は0人、がん発見率は一次検診受診者数に対し各々0.03%、0%であった。

なお、頸部がん患者5人のうち微小浸潤がん患者は4人であった。

表7には検診対象別の子宮がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象として行った子宮がん頸部検診数は26市町村の8,607人であった。

これに対して、職域を対象として行った子宮がん頸部検診数は104団体5,397人で、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った子宮がん頸部検診数は568人であった（資料2(1)、P92）。

当センターの行う子宮がん検診で要精検になった者のうち、当センターで精検を実施したものの割合は地域が40.8%、職域で66.4%、総計では54.7%を占めていた（資料2(3)、(4)、P94、P95）。

表6 子宮がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	部位	受診者数	要精検者		精検受診者		子宮頸がん 子宮体がん		うち微小 浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車検診	頸部	7,998	148	1.9	131	88.5	4	0.05	3
	(体部)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設検診	頸部	6,574	132	2.0	124	93.9	1	0.02	1
	(体部)	174	2	1.1	2	100.0	0	0	0
合計	頸部	14,572	280	1.9	255	91.1	5	0.03	4
	(体部)	174	2	1.1	2	100.0	0	0	0
前年度計	頸部	17,200	373	2.2	324	86.9	2	0.01	1
	(体部)	125	3	2.4	3	100.0	0	0	0

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表7 子宮（頸部）がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		子 宮 頸 がん		う ち 微 小 浸 潤 がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
地 域	令和2年度	8,607	142	1.6	126	88.7	4	0.05	3
	前年度	11,542	216	1.9	182	84.3	0	0	0
職 域	令和2年度	5,397	130	2.4	122	93.8	1	0.02	1
	前年度	5,037	143	2.9	129	90.2	2	0.04	1
検 診 友の会等	令和2年度	568	8	1.4	7	87.5	0	0	0
	前年度	621	14	2.3	13	92.9	0	0	0

注) 表6に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診の要精検者及び他の集検機関や一般医療機関からの紹介者を対象に頸部及び体部の細胞診検査を1,400件、組織診検査を258件、コルポスコピー1,047件、下腹部エコー266件、合計2,971件実施した（表8）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は頸部受診者が30人、体部受診者が8人であった（表9）。

表8 子宮がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容		検 査 件 数	
		令 和 2 年 度	前 年 度
細 胞 診	頸 部	1,271	1,400
	体 部	129	112
	小 計	1,400	1,512
組 織 診		258	372
コ ル ポ ス コ ピ ー		1,047	1,159
下 腹 部 エ コ ー		266	264
合 計		2,971	3,307

表9 子宮がん精検依頼分の成績

依 頼 元		件 数	が ん (うち微小浸潤がん)	CIN3 異 型 増 殖	CIN2 複 雑 型 増 殖	CIN1 単 純 型 増 殖	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	頸 部	8	0 (0)	2	1	2	3	0
	体 部	1	0	0	0	0	1	0
医 師 紹 介	頸 部	14	0 (0)	2	0	0	12	0
	体 部	1	0	0	0	0	0	0
個 人	頸 部	8	0 (0)	0	0	0	8	0
	体 部	6	0	0	0	0	0	0
合 計	頸 部	30	0 (0)	4	1	2	23	0
	体 部	8	0	0	0	0	1	0

### (3) 乳がん検診

乳がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診として視触診及び乳房撮影（マンモグラフィ）と精密検査としてX線撮影及び超音波検査、乳頭分泌物検査あるいは腫瘍穿刺検査による細胞診等を実施している。

#### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。車検診は、デジタルマンモグラフィ検診車2台を保有し、大阪府内市町村や職域等の検診を実施している。

市町村が実施主体となり実施する地域検診は、原則、視触診とマンモグラフィのセット検診を行っており、職域等はマンモグラフィのみの検診を実施している。

なお、令和2年度の稼働回数は2台で241回であった。

表10に令和2年度的車検診、施設検診別の乳がん検診の成績を示した。一次検診受診者総数は18,786

人で、車検診受診者は11,351人、施設検診受診者は7,435人であった。

一次検診の結果、要精密検査となった者は815人で要精検率は4.3%であった。精密検査受診者数は773人、精検受診率は94.8%、発見した乳がん患者は109人、うち早期乳がん患者69人、発見率は一次検診受診者に対し各々0.58%、0.37%であった。

表11には検診対象別の乳がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象に行った乳がん検診数は28市町村12,926人であった。

これに対して職域を対象に行った乳がん検診数は100団体4,934人、大阪対がん協会や検診友の会会員、原爆被爆者等を対象に行った乳がん検診数は926人であった（資料3(1)、P96）。

当センターの乳がん検診で要精密検査となった者のうち当センターで精検を実施した者の割合は地域で52.1%、職域69.6%、総計では58.6%を占めていた（資料3(3)、(4)、P98、P99）。

表10 乳がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	年度	受診者数	要精検者		精検受診者		乳がん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車検診	令和2年度	11,351	508	4.5	471	92.7	66	0.58	42	0.37
	前年度	13,486	559	4.1	500	89.4	64	0.47	45	0.33
施設検診	令和2年度	7,435	307	4.1	302	98.4	43	0.58	27	0.36
	前年度	7,804	348	4.5	339	97.4	28	0.36	17	0.22
合計	令和2年度	18,786	815	4.3	773	94.8	109	0.58	69	0.37
	前年度	21,290	907	4.3	839	92.5	92	0.43	62	0.29

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計した。

表 11 乳がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		乳 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 2 年度	12,926	569	4.4	534	93.8	83	0.64	51	0.39
	前年度	15,633	700	4.5	641	91.6	79	0.51	52	0.33
職 域	令和 2 年度	4,934	214	4.3	207	96.7	19	0.39	14	0.28
	前年度	4,616	171	3.7	163	95.3	10	0.22	8	0.17
検 診 友の会等	令和 2 年度	926	32	3.5	32	100.0	7	0.76	4	0.43
	前年度	1,041	36	3.5	35	97.2	3	0.29	2	0.19

注) 表 10 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診からの要精検者及び他の集検機関、一般医療機関等からの紹介者を対象に、超音波検査を2,649件、X線撮影を2,387件、乳頭分泌物あるいは腫瘍穿刺による細胞診を168件、分泌 CEA を2件、合計5,206件実施した（表12）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は93人であった（表13）。

表 12 乳がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和 2 年度	前 年 度
超 音 波	2, 6 4 9	2, 4 2 2
X 線 撮 影	2, 3 8 7	2, 6 7 4
細 胞 診	1 6 8	1 8 2
分 泌 C E A	2	3
合 計	5, 2 0 6	5, 2 8 1

表 13 乳がん精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	乳 が ん (うち早期がん)	線維腺腫	乳 腺 症	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	19	2(1)	1	0	10	6
医 師 紹 介	31	3(0)	4	2	19	3
個 人	43	3(2)	5	2	19	14
合 計	93	8(3)	10	4	48	23

#### (4) 肺がん検診

肺がんの早期発見を主目的として、市町村及び企業などを対象に一次検診（胸部低線量CT検査、胸部直接X線検査、喀痰細胞診によるスクリーニング）と精密検査（胸部CT検査、喀痰細胞診）を実施している。

##### 〈一次検診〉

一次検診は、施設において胸部直接X線検査、胸部低線量CT検査及び喀痰細胞診（三日蓄痰粘液融解法）による検診を実施するほか、車集検として、総合健診車での胸部直接X線検査及び喀痰細胞診による検診を実施している。

表14に施設（車）検診の成績を示した。

令和2年度の成績は、施設検診及び車検診で16,370人が受診し、要精密検査となった者546人、要精検率は3.3%、精検受診率は92.3%、結果、肺がんと診断された者は16人、がん発見率は、集検受診者に対して0.10%であった（資料4(1)、P100）。

なお、表15に検査内容別の検診成績を示した。

##### 〈精密検査〉

精密検査は、施設における一次検診の要精検者などを対象に、胸部直接X線検査、CT検査、喀痰細胞診（三回法）を行っている。

令和2年度は胸部直接X線検査0件、CT検査1,425件、喀痰細胞診0件を実施した（表16）。

表14 肺がん検診成績（施設（車）検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	(%)
施設（車）検診	令和2年度	16,370	546	3.3	504	92.3	16	0.10
	前年度	18,687	870	4.7	805	92.5	19	0.10

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。なお、大阪市個別検診は施設検診に含まれている。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表15 肺がん検診成績（検査内容別：延べ数）

検査内容	区 分	年 度	検査件数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
				人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
X 線 直 接	施設(車)検診	令和2年度	16,370	546	3.3	504	92.3	16	0.10
		前年度	18,687	870	4.7	805	92.5	19	0.10
喀痰細胞診	施設 検 診	令和2年度	671	0	0	0	0	0	0
		前年度	844	0	0	0	0	0	0
合 計		令和2年度	17,041	546	3.2	504	92.3	16	0.09
		前年度	19,531	870	4.5	805	92.5	19	0.10

注) 表14に同じ。

表16 肺がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和2年度	前 年 度
胸 部 直 接 X 線 検 査	0	13
C T 検 査	1,425	1,692
喀 痰 細 胞 診	0	4
合 計	1,425	1,709

## (5) 大腸がん検診

大腸がんの発見を目的として、市町村、職域、検診友の会会員等を対象に一次検診（免疫学的便潜血検査：2日法）と精密検査（全大腸鏡検査及び生検）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、胃集団検診とセットで胃・大腸集団検診として地域住民を主に、職域、検診友の会会員等を対象に実施した。

表 17 に検診対象別の大腸がん検診の成績を示した。

市町村が実施主体となり行った大腸がん検診は 23 市町村 21,621 人、職域 95 団体 9,674 人、検診友の会会員等 327 人であった（資料 5(1)、P103）。

大腸がん検診受診者総数 31,622 人のうち、便潜血検査の結果、陽性で要精密検査と判定された者は 1,571 人、要精検率 5.0%、精検受診者は 1,303 人、精検受診率 82.9% で、発見した大腸がん患者 47 人、うち早期大腸がん 36 人、発見率は集検受診者に対して各々 0.15%、0.11% であった。

当センターの行う大腸がん検診で要精密検査となった者のうち、当センターで精密検査を受診した者の割合は、地域が 0%、職域 0.3%、総計で 0.1% を占めていた。また、精密検査の検査内容別にみると、地域・職域ともにすべての精密検査は、内視鏡検査で行われていた（資料 5(6)、(7)、P108、P109）。

表 17 大腸がん検診成績

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん		早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 2 年度	21,621	1,141	5.3	971	85.1	39	0.18	30	0.14
	前年度	27,436	1,379	5.0	1,152	83.5	80	0.29	52	0.19
職 域	令和 2 年度	9,674	414	4.3	318	76.8	8	0.08	6	0.06
	前年度	9,855	408	4.1	314	77.0	12	0.12	8	0.08
検 診 友の会等	令和 2 年度	327	16	4.9	14	87.5	0	0	0	0
	前年度	384	20	5.2	14	70.0	0	0	0	0
合 計	令和 2 年度	31,622	1,571	5.0	1,303	82.9	47	0.15	36	0.11
	前年度	37,675	1,807	4.8	1,480	81.9	92	0.24	60	0.16

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績は、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 大阪市個別検診は地域に含めた。

### 〈精密検査〉

精密検査は、集団検診の要精検者及び他の集検機関等からの紹介者を対象に実施した。

市町村が実施主体の大腸がん検診からの精密検査は、原則として厚生労働省「がん検診実施のための指針」に基づき、1次精検として、全大腸鏡検査を行っている。また、職域等における大腸がん検診の精密検査についても、全大腸鏡検査を行っている。

表 18 に大腸精密検査件数を示した。

全大腸鏡検査 1 件、生検による病理組織診は 0 件であった。

なお、他の集検機関や医療機関等からの紹介者は 0 人であった（表 19）。

表 18 大腸がん検診精密検査件数（検査内容別）

検査内容	検査件数	
	令和2年度	前年度
注腸X線検査	0	0
全大腸鏡 (うち生検実施)	1 (0)	3 (1)
合計 (うち生検実施)	1 (0)	3 (1)

表 19 大腸がん精検依頼分の成績

依頼元	件数	大腸がん	大腸腺腫	大腸ポリープ	憩室その他	異常なし
集検機関	0	0	0	0	0	0
医療機関	0	0	0	0	0	0
個人	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

## 2 総合健診

施設内においては、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診、定期健康診断、特定健康診査、循環器健診を実施し、これらの健康診査とがん検診を同時に受診することができる態勢をとっている。また、総合的な人間ドック健診も行っている。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は3,601人で、前年度より243人減少した。労働安全衛生法に規定する定期健康診断は1,262人で、前年度より94人の増加となった。

特定健康診査は1,367人で、前年度より122人の増加となった。

人間ドックは3,045人で、充実コース人間ドック

113人を含んでおり、前年度より78人の増加となった。

循環器健診は3,014人で、前年度より24人増加した。その他の健診は3,871人で、前年度より74人の減少となった。

また、平成10年度から実施している検診車を活用した総合的な健康診査は、平成28年度より施設での健診に変更された。

上記の一次健康診査にひき続いて精密検査を実施したのは、がん検診の精密検査を除き782人となり、前年度より318人の減少となった。精密検査の内容は、腹部造影エコーや血液検査、尿検査などである。

表20 総合健診検査人数

(人)

健 診 種 別	令和2年度	前 年 度
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,601	3,844
定 期 健 康 診 断	1,262	1,168
特 定 健 康 診 査	1,367	1,245
人 間 ド ッ ク	3,045	2,967
循 環 器 健 診	3,014	2,990
そ の 他 の 健 診	3,871	3,945
上 記 合 計	16,160	16,159

### 〈特定健康診査・特定保健指導〉

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導が開始され、当センターにおいても平成21年度から実施している。

特定健康診査及び定期健康診断や人間ドックを実施している団体の中で、特定保健指導の実施について依頼のあった団体の受診者のうち、生活習慣の改善が必要とされる対象者に対して特定保健指導を実施した。

11の健康保険組合と特定保健指導実施の契約を締結し、その組合員を対象とした特定保健指導を実施した。

令和2年度実績(次年度以降、初回面接実施者含む)

- ・ 特定健康診査 1,367人
- ・ 特定保健指導 543人
  - うち 動機づけ支援 245人
  - 積極的支援 298人

### 〈保健指導等〉

保健指導の契約がある8団体で循環器健診コースの受診者について、がん予防と循環器病予防の観点から、肥満の有無に関わらず、ハイリスク者に焦点を当てて、当センターの定めた基準に従って医師と保健師・管理栄養士が保健指導を行っている。平成29年度より開始した労災二次健診では、全受診者へ保健指導を実施した。

充実コースの結果説明では、ハイリスク者であるか否かにかかわらず、生活アドバイスとして受診者全員に保健指導を実施している。

令和2年度実績

- ・ 保健指導（労災二次健診受診者含む） 327人
- ・ 生活アドバイス 110人

### 3 所外健診

府民の健康状態や生活習慣の動向、疾病罹患の要因などを明らかにするために、健康科学センターから引き続き、地域住民と職域勤務者に対する「所外健診」を行っている。所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施している。地域、職域ともに、当センターのスタッフ自らが現場に出向いて健診に従事し、健診方法や結果判定についての精度管理を継続して行うとともに、調査研究や保健指導を行って地域や職域の実情に応じた予防対策の立案に役立てている。

そして、「所外健診」で得られた分析結果や健診・保健指導のノウハウを、将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」等保健指導ツールの開発や市町村の予防対策に対するデータ分析や具体的な指導・助言などの支援に活かしている。

#### ○八尾市南高安地区

大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が、脳卒中、虚血性心疾患の発生状況及び主要リスクファクターの推移を明らかにするための疫学研究として昭和38年から継続して健診を行ってきた。平成13年、府立健康科学センターの設立に伴い、同センターが研究を引き継ぎ、平成24年4月の同センターと大阪がん予防検診センターとの統合により、大阪がん循環器病予防センターがさらに引き続いて実施している。

本地区の健康づくりは住民主体の活動となっており、その中核として活動している組織が「南高安地区成人病予防会」である。

同会の事業である交流会、総会、骨密度測定検査、健康相談、成人病健診、健診結果説明会、健康増進歩く会、会報作成などにも当センターのスタッフが参画している。

また、予防対策事業の評価の一環として、八尾市、八尾市医師会、関係医療機関、大阪府等と協力して、脳卒中、虚血性心疾患発症者調査を実施している。

#### ○秋田県井川町

この地区も前述の八尾市南高安地区と同様に大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が研究事業として昭和38年に健診を開始し現在も当センターが引き続いて実施している。

当時、東北地方は脳卒中の死亡率が高い地域であり、特に秋田県は全国一の高死亡率であった。脳卒中予防対策を希望する当時の秋田県衛生科学研究所職員、井川村村長、保健所長らの熱い思いと、大阪府内の地域・職域を中心に循環器健診を実施し着実に実績を上げつつあった成人病センターとの結びつきが脳卒中予防のための健診を共同で実施するきっかけになった。

同町における循環器健診と脳卒中発生状況の調査、食生活の実態調査の結果を大阪の成績と比較することにより、秋田の脳卒中の特徴が次第に浮き彫りになり、その報告をもとに以後の予防対策が推進され、発生率の低下や死亡率の減少など大きな成果を上げるに至った。逆に、両府県におけるデータの比較が大阪の循環器疾患の特徴の解明につながり、大阪での予防対策の発展に大きく寄与することとなっている。

#### ○職域3集団

システム関連会社、市場、医療関係団体という労働環境の異なる3集団に対して、定期健康診断（医療関係団体はドック健診）として健診を実施し、各業態勤労者の循環器疾患の危険因子の特徴や動向を比較検討している。

表21 所外健診検査件数

(件)

健診団体	健診日数	令和2年度	前年度
八尾市南高安地区	0	0 (0)	1,541 (204)
秋田県井川町	8	764	1,373
職域3団体	6	429	450
合計	14	1,193	3,364

注) 八尾市南高安地区( )の住民健診は、「南高安地区成人病予防会」の健康診断も併せて実施したため、健診検査件数を再掲載した。

## 4 検 査

画像検査、生理検査ならびに検体検査等の検査実績を表22及び表23に示す。表22には施設における検査の項目別実績を、表23にはがん検診における

細胞診、組織診、大腸便潜血検査実績を検査項目別件数として示す。

表22 施設における検査件数

(件)

区 分		令和2年度	前年度	区 分		令和2年度	前年度
放 射 線	胃X線 (16方向)	6,120	6,196	な 生 理 検 ど 査	ピロリ菌呼気検査	47	73
	胃X線 (8方向)	2,098	2,279		ピロリ菌除菌件数	32	46
	胸部X線	13,702	13,697	検 体 検 査	便 潜 血	13,126	13,420
	胸部CT	2,591	3,014		検 尿	12,165	12,130
	マンモグラフィ	8,710	9,170		尿 沈 渣	1,184	1,211
心 電 図	10,875	10,778	血 液 検 査		12,131	12,086	
生 理 検 査 な ど	視 力 検 査	10,813	10,906	細 胞 診	子 宮 頸 部	7,796	7,848
	聴 力 検 査	10,779	10,865		子 宮 体 部	307	240
	骨 密 度	3,138	3,200		喀 痰 細 胞 診	755	918
	眼 底 検 査	7,252	7,111		乳 腺 吸 引 細 胞 診	170	188
	呼 吸 機 能 検 査	3,758	3,735		上 部 消 化 管	4,164	5,142
	腹 部 超 音 波 検 査	4,687	4,598	内 消 視 鏡 化 検 査 器	下 部 消 化 管	0	3
	腹部超音波検査(精検)	203	274		〔 上部消化管 下部消化 管の内 内 視 鏡 下 生 検 〕	(266)	(219)
	乳 腺 超 音 波 検 査	4,477	4,495			子 宮 レーザー蒸散術	8
	経 膈 超 音 波 検 査	492	507	そ 他			
合 計						141,580	144,141

注) 数値の ( ) は再掲。

表23 細胞診・組織診・便潜血検査件数

(件)

検査内容	検査項目	依 頼 元	件 数	
			令和2年度	前 年 度
細胞診	子宮がん	車 検 診 (頸部)	7,998	10,677
		施 設 検 診 (頸部)	6,592	6,541
		” (体部)	178	129
		精 密 検 診 (頸部)	1,204	1,307
		” (体部)	129	111
		小 計	16,101	18,765
	肺がん	一 次 検 診 (喀痰)	755	914
		精 密 検 査 (喀痰)	0	4
		小 計	755	918
	乳 がん 精 密 検 診		170	188
	そ の 他		113	173
	合 計		17,139	20,044
	組織診	子 宮 がん 精 密 検 査		199
胃 がん 精 密 検 査		266	218	
大 腸 がん 精 密 検 査		0	1	
乳 がん 精 密 検 査		21	0	
合 計		486	523	
大 腸 便 潜 血 検 査		31,622	45,395	
総 合 計		49,247	65,962	

## 5 医療機関との連携

大阪府医師会傘下の医療機関との連携協調を事業の柱の1つとして推進している。

医療機関との連携事業としては、各種がん検診の精密検査の受入、患者紹介、施設見学、医療技術に関する研修などが中心であり詳細は下記の通りである。

### (1) 紹介患者の受け入れ

一般医療機関などから紹介された患者については、当センターでは検査のみを実施、検査結果を当該医療機関に報告し、結果の説明、治療などは原則として紹介元の医療機関で行うという方法をとっている。

令和2年度の一般医療機関などからの精密検査紹介患者数は、胃がん検診91人、子宮がん頸部検診30人、子宮がん体部検診8人、乳がん検診93人であった。

### (2) 患者の紹介

施設及び車での集団検診の結果、要精密検査とされた者のうち、主治医あるいは近医での受診を希望する者に対しては、精密検査に必要なフィルム、データなどをそろえて紹介している。

令和2年度の精検受診者の精検実施機関の内訳は、胃がん検診では82.1%、子宮がん検診では45.3%、乳がん検診では41.4%、大腸がん検診では99.9%が当センター以外の医療機関での精検受診であった。

また、当センターの精密検査で手術などの治療が必要と診断された患者に対しては、患者本人や家族と相談の上、適切な病院に紹介している。

### (3) 主な紹介医療機関

病院名	紹介数
大阪国際がんセンター	43
大阪医療センター	33
市立貝塚病院	10
大阪プレストクリニック	9
大阪はびきの医療センター	8
大手前病院	8
近畿大学病院	6
大阪市立総合医療センター	5
大阪大学医学部附属病院	4
大阪市立大学医学部附属病院	3
大阪鉄道病院	3
市立池田病院	3
和泉市立総合医療センター	2
北野病院	2
済生会吹田病院	2
済生会野江病院	2
市立豊中病院	2
八尾市立病院	2
大阪医科薬科大学病院	1
大阪回生病院	1
大阪警察病院	1
大阪赤十字病院	1
大阪南医療センター	1
関西電力病院	1
岸和田市民病院	1
京都第二赤十字病院	1
甲南医療センター	1
済生会中和病院	1
堺市立総合医療センター	1
市立柏原病院	1
三菱京都病院	1
守口敬仁会病院	1
森之宮病院	1

## 6 精度管理と研修

精度の高いがん検診を広く大阪府民に提供するためには、受診率の向上と検診そのものの精度管理が重要である。そのためには、検診に従事する者の資質の向上とがん検診の実態等の把握が必要である。

がん予防検診部門では、がん予防検診センター開設当初から、医療スタッフの技術研修や技術実習を行うとともに、がん検診の実態把握等に努めてきた。さらに、平成24年度からは大阪府からの委託を受け、組織型検診推進のための精度管理センター事業を行っている。

### (1) がん検診の実態把握

大阪府から委託を受け、精度管理基礎調査をもとに、がん検診の実態並びに検診成績等の把握を行っている。把握した調査結果は、毎年、冊子『大阪府におけるがん検診』にまとめて、大阪府内市町村や大阪府医師会等多くの関係機関に配布している。

これは、より効率的・効果的ながん検診を展開していくための基礎資料となっている。なお、これらの事業は大阪府精度管理システムを運用管理し実施している。

### (2) 市町村、検診機関支援

がん予防検診部門では調査室が中心となり、府内市町村や検診機関を対象に、がん検診精度向上に対する支援、がん検診提供体制確保に対する支援、受診率向上に対する支援を行った。支援事業内容の詳細は次頁に掲載する。

### (3) がん検診受診率向上事業

職域における精度管理されたがん検診の普及を目指すとともに、がん検診受診率を向上させ、府全域のがん検診の充実を図ることを目的に、職域のがん検診を受託する検診機関に対し、実態把握調査を行った。また、国が作成した「職域におけるがん検診に関するマニュアル」についての、普及・啓発を行った。

### (4) 研修及び施設見学

前身のがん予防検診センター開設当初より、国内外の各方面から医療スタッフの研修生を受け入れ、研修・実習及び施設見学を多数実施してきた。

放射線技師室では、国際医療技術交流財団からの依頼を受け「JICA 医療技術スタッフ研修」として海外からの多数の技術職研修生を受け入れてきた。また、婦人科検診部でも開設当初から多くの海外研修生を受け入れ、技術研修及び技術実習を行ってきた。

これまでに、マレーシア、カンボジア、タンザニア、中国、台湾、韓国、スペイン、パラグアイ等の多くの国々から医師、放射線技師等の医療技術職研修生を受け入れた。

1. 検診精度の向上に対する支援

- (1) 精度管理委員会開催への支援  
市町村が開催する精度管理委員会における資料作成協力などを行った。

支援市町村数 乳がん：1地域  
子宮がん：1地域  
肺がん：1地域  
大腸がん：1地域  
胃がん：1地域

- (2) 精検受診率の向上に対する支援・精度管理指標の分析  
効率的な精密検査結果報告方法を検討するための助言や報告書案の作成などを行った。  
また、大阪府精度管理システムを活用し、精度管理指標の分析、評価を行った。

支援市町村数：18市町村

- (3) 市町村からの電話相談・研修会の開催

《電話相談》 件数：112件  
市町村がん検診担当者からの電話相談に対応した（別表1）。

《研修会》  
新型コロナウイルス感染拡大のため、研修会は実施せず、  
がん検診精度管理に関する資料の配布を行った。（別表2）。

(別表1)

電話相談内容	件数
がん全般	12
胃がん	29
大腸がん	22
肺がん	15
子宮頸がん	18
乳がん	16
合計	112

2. がん検診の提供体制の確保に対する支援

- (1) 実施要領や受診票の改訂に対する支援  
実施要領やがん検診問診票の改訂を行う市町村に対し、内容の確認や助言を行った。

3. 受診率向上に対する支援

- (1) 個別受診勧奨の推進に対する支援  
個別受診勧奨を実施する市町村に対し、勧奨対象の選定、勧奨方法、対象に応じた勧奨ツールの提案を行った。また、その効果について検証した。

支援市町村数：5市町

4. その他

- (1) 大阪府精度管理システムの運用管理  
42市町村運用（うち令和2年度新規導入2市）
- (2) 精度管理システムの改修  
胃内視鏡検診を開始した市町村についてのシステム改修を行った。
- (3) 「市町村がん検診事業にかかる個別支援を目的とした市町村訪問」として、府内43全市町村を訪問することとし、うち13市町村を訪問しヒアリングを行った。

## 5. がん検診受診率向上事業

大阪府医療機関情報システムより、人間ドック等を実施している938機関に職域のがん検診の実施の有無・検診の体制・精度管理の状況などについてアンケート調査を実施し、438機関（回収率46.7%）から回答を得た。職域に対するがん検診を実施していると回答のあった166機関のうち31機関に対し、メールまたは訪問による追加調査を実施した。また、がん検診を実施していた166機関には、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を送付し、職域においても精度管理されたがん検診が実施されるよう啓発を行った。

(別表2)

送付日	テーマ
令和2年 9月10日	がん検診の基礎～正しい検診を正しく行うために～
	がん検診の実際～検診から精密検査まで～
	精度管理センター事業の紹介
	精度管理システムについて
	地域保健・健康増進事業報告への計上注意点
	大阪府がん登録事業における情報提供について

## 7 循環器病予防活動

循環器病予防部門では、健康科学センターで培った科学的根拠を踏まえた健康づくり技法のノウハウ等を活かし、大阪府からの受託事業として、府内の市町村の循環器病予防対策の支援として地域の健康課題の明確化や行動変容プログラムの策定・実践指導、保健指導ツールの開発を行うとともに、循環器病健診事業等を行った。

### (1) 地域の健康課題の明確化(医療費及び特定健診・特定保健指導のデータ分析)

大阪府国民健康保険団体連合会、市町村国民健康保険等にかかる特定健診、特定保健指導及び医療費のデータを分析し、市町村国保における医療費や疾病構造にかかる課題、特定健診・特定保健指導の実施状況(受診率、メタボリックシンドロームの割合等)、健診有所見者状況の課題を明らかにした。

その結果、高血圧、喫煙率をはじめとする各所見や医療費の内訳において、市町村間の差や地理的な偏在が判明し、市町村の課題に応じた対策の重点化の必要性を示した(「市町村国民健康保険及び協会けんぽにおける特定健診・特定保健指導のデータ分析並びに市町村国民健康保険、後期高齢者医療及び協会けんぽにおける医療費データ分析」報告書(令和2年度))。これらのデータを元にデータヘルス計画策定に対する助言を行っている。

また、平成27年度からは、協会けんぽデータの分析も行っている。

### (2) 行動変容プログラムの提示・普及、モニタリング調査・分析(行動変容推進事業のフォローアップ事業)

行動変容推進事業は、データ分析の結果明らかになった健康課題を踏まえ、改善策について計画・実行・評価(PDCAサイクル)を行うことで、被保険者、保険者、関係者等の問題意識を高め行動変容につなげていくことを目指している。

本年度は、前年度までに改訂されたプログラムのブラッシュアップをおこなった。また、令和元年度のモニタリング調査を実施した。令和2年1月に端を発する新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年は各種健診・検診も大きな影響を受けており、健診や保健指導の実施内容にも影響を受け、市町村からの事業に関する個別の相談へ支援や助言を実施した。(「行動変容推進事業」報告書(令和2年度))。

### (3) 循環器疾患と危険因子のモニタリング及び保健指導ツールの開発

所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施した。また、これらの調査データの分析を通じ、特定健診の結果を活用して将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」(平成23年度に開発)をホームページで公開している。このツールはいくつかの団体でも活用されているほか、所内の保健指導においても活用されている。モデル地域・職域での健診によって蓄積されたデータ及び、その他の学術的な資料に基づき、現場の声を聞きながら、循環器疾患の予防対策に役立つ保健指導用リーフレットを作成した。今年度は、「自分の体重を利用した筋力トレーニング」がテーマのリーフレットを作成した。また、「高血圧治療ガイドライン2019」の改定や「日本人の食事摂取基準2020」の策定に伴い、ホームページの「循環器病編」を更新した。(「循環器疾患と危険因子のモニタリング、保健指導ツールの開発」報告書(令和2年度))

### (4) 総合健診事業

がん検診と循環器健診をセットにした「総合健診」を行うとともに、特定保健指導を同日実施することにより、特定健診受診率の向上に寄与した。

受診者のうち、特定保健指導(いわゆる「メタボ健診」)の対象とならないハイリスク者に対しても、保健師又は管理栄養士による個別面接を行い、「循環器疾患・発症予測ツール」を活用するなど保健指導を実施し、循環器病予防の推進に努めた。

また、これらのことにより培われた健診・保健指導の実施方法の工夫や生活習慣の改善に関する具体的な指導・助言などを、市町村の行動変容プログラムに採り入れた。

### (5) 循環器病予防のための情報発信

府民の健康指標の改善に資するため、府民、指導者、研究者に対し、循環器病・生活習慣等にかかる健康情報並びに「大阪府民の健康栄養状況」のとりまとめ、指導者養成の教材・講演内容、研究論文などをホームページで提供するとともに、大阪府、保険者協議会、市町村、医師会等と連携して、医師、看護師、保健師等を対象に、特定健診・特定保健指導、禁煙支援など、健康づくりを推進するための専門研修を行った。

### (6) 調査研究事業

循環器病等の生活習慣病予防の推進を目的に、科学的根拠に基づいた実践的な健康づくり技法の開発や制度化のための調査研究を行うとともに、厚生労働省や文部科学省等の研究班の研究協力者として共同研究を行った。

令和2年度事業説明会および研修会の概要

令和2年度 保健事業担当者説明会

- 1 とき 令和2年7月13日(月) 第1部 9:30~12:00 第2部 14:00~16:30  
(受付:開始30分前から)
- 2 ところ 大阪赤十字会館 3階 301会議室 (所在地:大阪市中央区大手前2丁目1番7号)
- 3 対象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導・がん検診・医療費適正化等担当者(技術職・事務職)等
- 4 目的 府が実施する健康づくり施策、国保ヘルスアップ支援事業、がん検診受診率向上等について、市町村担当者等が理解し、他機関と連携した効率的、効果的な保健事業を展開することができるようにする。併せて、保健事業、保健指導等の取組みのスキルアップを行う。
- 5 主催 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課、大阪がん循環器病予防センター

第1部 プログラム(受付:9:00から)

時間	プログラム内容	講師等	資料
9:30	オリエンテーション(5分)	司会	資料1
9:35	医療費データ、特定健診・特定保健指導データ分析結果について(30分)	大阪がん循環器病予防センター 清水 悠路	資料2
10:05	大阪府国保ヘルスアップ支援事業(20分) ・地域差見える化支援ツール ・糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業 ・市町村保健事業介入支援事業	大阪府健康医療部健康推進室 国民健康保険課	資料3
10:25	大阪府第2期健康寿命延伸プロジェクト健康格差解決プログラム ・フレイル予防のための生活習慣改善プログラム(30分)	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦 国立健康・栄養研究所 身体活動研究部長 宮地 元彦 先生	資料4
10:55	協会けんぽから情報提供(10分)	協会けんぽ大阪支部 保健グループ 井上芳樹	資料5
11:05	——休憩——(5分)		
11:10	大阪府第2期健康寿命延伸プロジェクト健康格差解決プログラム ・特定保健指導実施率向上プログラム(20分)	大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 特任准教授 野口 緑 先生	資料6
11:30	ミニ講座「感染症のリスクをふまえた重症化予防の考え方」(30分)	大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 特任准教授 野口 緑 先生	資料7
12:00	その他 連絡事項 アンケート記入等 終了予定		

第2部 プログラム (受付: 13:30 から)

時間	プログラム内容	講師等	資料
14:00	オリエンテーション (05分)	司会	資料1
14:05	大阪府第2期健康寿命延伸プロジェクト健康格差解決プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導実施率向上プログラム (20分)</li> </ul>	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 特任准教授 野口 緑 先生	資料6
14:25	ミニ講座「感染症のリスクをふまえた重症化予防の考え方」(30分)	大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 特任准教授 野口 緑 先生	資料7
14:55	大阪府第2期健康寿命延伸プロジェクト健康格差解決プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防のための生活習慣改善プログラム (30分)</li> </ul>	国立健康・栄養研究所 身体活動研究部長 宮地 元彦 先生	資料4
15:25	——休憩—— (5分)		
15:30	医療費データ、特定健診・特定保健指導データ分析結果について (30分)	大阪がん循環器病予防センター 清水 悠路	資料2
16:00	大阪府国保ヘルスアップ支援事業 (20分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域差見える化支援ツール</li> <li>・糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業</li> <li>・市町村保健事業介入支援事業</li> </ul>	大阪府健康医療部健康推進室 国民健康保険課	資料3
16:20	協会けんぽから情報提供 (10分)	協会けんぽ大阪支部 保健グループ 井上芳樹	資料5
16:30	その他 連絡事項 アンケート記入等 終了予定		

令和2年度 行動変容推進事業フォローアップ研修会

- 1 とき 令和2年11月6日(金) 14時00分～17時00分(受付:13時30分から)
- 2 ところ 大阪大学 中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール
- 3 開催形式 Web開催(Web環境の整っていない市町村は会場参加)  
\*府保健所、栄養士会は原則Web参加とする
- 4 対象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導等従事者・担当者(技術職・事務職)、府保健所企画調整課担当者、その他関係機関担当者等
- 5 目的 特定保健指導実施率向上のため、効果的な保健指導を行うための実践的知識を学び、保健事業従事者のスキルアップを図ると共に、汎用性の高い行動変容プログラムに基づく取り組みの推進を図る。
- 6 主催 大阪がん循環器病予防センター(大阪府委託)  
\*本研修会は、大阪府健康推進室健康づくり課、公益社団法人大阪府栄養士会主催の府保健所及び市町村栄養士等合同研修会としても実施しております。

プログラム

時間	プログラム内容	講師等	資料
14:00	挨拶(5分)	大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦	
14:05	情報提供(40分) ・大阪府健康推進室より *新型コロナウイルスの流行期における、 がん検診、特定健診(市町村国保)の現状について ・大阪府国保連合会より KDB健康スコアリングレポートについて ・大阪府国保課より保健事業対象者抽出ツール(改訂版)について	大阪府健康づくり課 大阪府国民健康保険課  大阪府国民健康保険団体連合会 油谷 昌幸 大阪府国民健康保険課	資料1  資料2
14:45	報告(55分) ・(国保連合会)保健事業支援評価委員会より *KDBからみえる、新型コロナウイルス感染症流行による 循環器疾患患者の受診行動の傾向 ・汎用性の高い行動変容プログラムフォローアップ講座 市町村アンケートの結果、事例紹介 汎用性の高い行動変容プログラムの改訂(案)について	大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫	資料3
15:40	—休憩—(10分)		
15:50	講演「行動変容につながる保健指導の実践について」 ～コロナ禍における生活習慣病予防を踏まえて～(70分) 講師 福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授 大平哲也先生	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦	資料4
17:00	大阪府からの連絡事項  アンケート記入等 終了予定		

## IV 広報活動

## 1 概 要

広報活動として、がん及び生活習慣病に関する知識の啓発・普及活動並びに、当センターの事業紹介を行っている。

保健所や府内市町村などの協力も得て、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善、がんの早期発見のために、がん検診を受診することの重要性などについての知識の普及を目指している。

また、所外で開催される研修会・講演会等に職員を講師として派遣している。

## 2 がん予防キャンペーン大阪2020

令和2年9月～令和3年3月にかけて、大阪府、大阪市、大阪府医師会をはじめ公衆衛生関係団体や婦人団体など計10団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当センター）の主催の下でキャンペーンを開催した。

検診受診率の向上は、がん対策の大きな柱である。がんについての正しい知識を広く提供し、大阪府のがん検診受診率を向上させるために、府民を対象に講演会を毎年開催している。令和2年度は「増えている子宮がん・乳がん！大切な検診と適切な治療」というテーマで講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえWeb上での講演動画の公開に変更した。

また、前年に引き続き、当センターのホームページにおいて、作成した教材を閲覧及びダウンロードできるようにし、大阪府内はもとより全国規模で継続したがん予防のための啓発活動を展開した。事業内容の詳細は次頁に掲載する。

## 3 マスメディア

新聞・テレビ・ラジオ等の報道機関の取材に協力し、がん検診及び循環器病予防健診に関する知識の啓発・普及に努めた。

### 〈がん予防検診部門〉

#### 【新聞・雑誌】

- ・誌 名：協会けんぽコラム
- ・執筆 掲載者：和田 公子
- ・内 容：「5月の母の日に」
- ・日 時：令和2年5月15日

- ・誌 名：協会けんぽコラム
- ・執筆 掲載者：和田 公子
- ・内 容：「GO TO がん検診」
- ・日 時：令和2年10月15日

## 1. 講演会

10月3日(土)にドーンセンターを会場とした講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえWeb上での講演動画の公開に変更した。

### (1) 講演会のプログラム

- テーマ 「増えている子宮がん・乳がん！大切な検診と適切な治療」
- 掲載期間 令和2年10月10日～11月25日
- 掲載場所 大阪がん循環器病ホームページ内 がん予防キャンペーン大阪2020ページ
- 視聴数 のべ 1,128回

#### 講演内容

『子宮がん・乳がん検診について』

和田 公子 氏 (大阪がん循環器病予防センター 副所長兼乳腺検診部長)

『子宮がんの治療について』

上浦 祥司 氏 (国際がんセンター 婦人科 主任部長)

『乳がんの治療について』

菰池 佳史 氏 (近畿大学病院 外科 教授)

### (2) 広報活動

- 1) 大阪府ホームページへの掲載
- 2) 大阪市ホームページへの掲載
- 3) 大阪がん循環器病予防センターホームページへの掲載

### (3) 資料等の配布

- 1) 子宮がん検診冊子
- 2) 乳がん検診冊子
- 3) 乳がん自己触診カード

## 2. がん検診無料クーポン券の配布

がん検診の受診のきっかけの提供を目的とし、子宮がん検診・乳がん検診の無料クーポン券のプレゼントを企画した。

応募数、及び受診者数

	応募数	受診数
子宮がん検診	53名	32名
乳がん検診	89名	51名
計	142名	83名

## 3. 啓発資料の増刷・作成

「子宮がん検診冊子」「乳がん検診冊子」「乳がん自己触診カード」の増刷

- 1) 子宮がん検診冊子 (増刷) (A5版、カラー、7,000部)
- 2) 乳がん検診冊子 (増刷) (A5版、カラー、5,000部)
- 3) 乳がん自己触診カード (増刷) (A6版、カラー、10,000枚)

#### 4. 2020年版がん予防啓発冊子等の配布

がん予防のための正しい知識を掲載した冊子等が、一人でも多くの府民の手に届くよう、各関係機関等の協力を得て、場所や経路に応じた配布を行った。

(別表1) 9月のがん征圧月間に配布した機関および冊子枚数一覧表

	子宮がん検診冊子	乳がん検診冊子	乳がん自己触診カード
主 催 団 体	各30部 合計180部	各30部 合計180部	各30部 合計180部
大 阪 府	5部	5部	5部
大阪府医師会 (郡市区医師会64カ所)	10部と各30部 合計1,930部	10部と各30部 合計1,930部	10部と各30部 合計1,930部
大 阪 市 (保健センター24カ所)	各50部 合計1,200部	各50部 合計1,200部	各50部 合計1,200部
東大阪市、堺市 摂津市 (13カ所)	各50部 合計650部	各50部 合計650部	各50部 合計650部
府内市町村 (39カ所) 豊中市は1カ所に200部	各50部 合計2,100部	各50部 合計2,100部	各50部 合計2,100部
大阪府保健所 (9カ所)	各20部 合計180部	各20部 合計180部	各20部 合計180部
合 計	6,245部	6,245部	6,245部

#### 5. その他の資料の配布状況

啓発資料の追加を希望する団体には過去のがん予防キャンペーン大阪で作成した資料も含めて配布した。

(別表2) その他の資料の配布状況(追加希望等)

資料の種類	作成年度	市 町 村	医療機関 そ の 他	計
あなたはもう受けましたか？乳がん検診を！	2012	1,500	226	1,726
乳がん自己触診カード	2012	1,000	597	1,597
子宮がん検診 早期発見が決めて！	2012	1,200	689	1,889
がん検診啓発リーフレット	2013	553	397	950
大腸がん検診	2013	653	60	713
肺がん検診啓発リーフレット	2016	653	154	807
胃がん検診啓発リーフレット	2017	653	109	762

#### 6. 乳がん自己触診モデルの貸し出し

乳がんの早期発見のための府民への啓発を目的とし、乳がん自己触診についての社内啓発や乳がん検診啓発イベントで活用いただける、乳房触診モデルの無償貸出しを行った。

貸出し機関数 5 機関 貸出し回数 9 回

**【主催団体】** 大阪府／大阪市／(一社)大阪府医師会／(公財)大阪対がん協会／(一財)大阪府結核予防会  
(公財)大阪公衆衛生協会／大阪府地域婦人団体協議会／大阪市地域女性団体協議会  
(公財)大阪成人病予防協会／当センター(事務局)

**【後援団体】** 大阪府市長会／大阪府町村長会／(一社)大阪府病院協会／(一社)大阪府歯科医師会 他20団体

**【協賛団体】** 東京海上日動火災保険(株)／東京海上日動あんしん生命保険(株)／住友生命保険(相)

## 4 講師派遣

大阪府内市町村や医師会、企業の健康保健組合等からの依頼により、市町村や企業の健康保険組合等が主催する研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、がん・循環器疾患に関する知識の啓発・普及に努めた（表24）。

表24 講師派遣実績表

《伊藤 壽記 所長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
地域医療とセルフメディケーション 「健康食品(サプリメント)の EBM」	大阪大学大学院薬学研究 科	ZOOM による講義	令和2年 5月22日
臨床医学特論「全人的統合医療」	大阪大学医学部・医学科 教育センター	ZOOM による講義	令和2年 7月9日
臓器別セッション3（司会） 膵臓移植登録データの問題点・改 善・活用法	第56回日本移植学会総会 (秋田大学 佐藤滋)	ZOOMによる講演司会	令和2年 10月1日
第89回成人病公開講座「がんの統 合医療～予防から補完戦略まで」	大阪国際がんセンター (向井幹夫)	大 阪 国 際 が ん セ ン タ ー	令和2年 11月10日
第24回日本統合医療学会 市民公開 講座（司会）「元サッカー日本代表 監督 岡田武史」	東京大学大学院新領域創 成科学研究科人間環境学 専攻 酒谷薫	ZOOMによる講演司会	令和2年 11月13日
新たな医療の新展開～全人的統合 医療	静岡県立浜松視覚特別支 援学校	静岡県立浜松視覚 特別支援学校 ZOOM による講義	令和2年 12月10日
第24回日本統合医療学会 特別企画 1. 「渥美和彦栄養学会長追悼講 演」渥美和彦先生の思い出	東京大学大学院新領域創 成科学研究科人間環境学 専攻 酒谷薫	ZOOM による講演	令和2年 12月12.13日
第24回日本統合医療学会 大会長 講演（司会）「“幸せの統合医療”を 目指して」	東京大学大学院新領域創 成科学研究科人間環境学 専攻 酒谷薫	ZOOMによる講演司会	令和2年 12月12.13日
第18回日本機能性食品医用学会 教育講演（座長）小笹寧子（京都 大学循環器内科）「心臓リハビリテ ーションにおける栄養管理」	福岡大学心臓・血管内科 三浦伸一郎	ZOOMによる講演司会	令和2年 12月19日
日本統合医療学科プレ研修2021講演 「新型コロナウイルス感染症- Covid-19」	日本統合医療学会 研修セミナー	ZOOM による講演	令和3年 1月16日

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
アジア膵・膵島移植学会/日本膵・膵島移植研究会合同開催 Plenary Session 2 (座長) Pancreas Transplantation in Asia	藤田医科大学 移植再生医学講座 剣持敬	ZOOM によるプレナリーセッション司会	令和3年 3月11日
第48回日本膵・膵島移植研究会アワードセッション(座長)「臨床」	藤田医科大学 内分泌・代謝内科学 鈴木敦詞	完全 ZOOM 開催	令和3年 3月13日
日本統合医療学科認定研修セミナー「統合医療における EBM」	日本統合医療学会	ZOOM による講演	令和3年 3月20日

〈がん予防検診部門〉

《和田 公子 副所長兼乳腺検診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
乳がん予防講演会 「乳がんを早期発見するために 知っておきたいこと」	泉大津市	W E B	令和3年3月

《石田 哲士 内視鏡検診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
基本から考える胃の読影 X線と 内視鏡の対比から見えてくるもの (内視鏡医の立場から)	大阪消化管撮影技術研究会	W E B	令和3年 2月6日

《三浦 一利 放射線技師室長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
「緊急企画 健診施設におけるコ ロナ対策」	大阪消化管撮影技術研究会	W E B	令和2年 12月5日
「緊急企画 健診施設におけるコ ロナ対策2」	大阪消化管撮影技術研究会	W E B	令和3年 1月9日

〈循環器病予防部門〉

《木山 昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
生活習慣病予防教室 ・生活習慣病の定義 ・メタボリックシンドロームの定義 ・検査項目の種類と意味、放置するとどうなるか ・日常生活の注意点など	池田市	池田市保健福祉総合センター3階	令和2年 10月8日
筑波大学非常勤講師 「専門科目 機能・構造と病態Ⅰ」	筑波大学医学医療 エリア支援室総務	筑波大学	令和2年 11月2日

《岡田 武夫 予防推進部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
令和2年度 4年次環境医学・公衆衛生学実習の指導(計20回)	大阪大学医学部	W E B	令和2年 5月21日～ 10月15日
令和2年度箕面市食生活改善推進員(ヘルスマイト)養成講座「府民の健康状況と生活習慣病予防」	箕面市	箕面市総合保健福祉センター分館2階講堂	令和2年 12月3日
特定健康診査結果説明会 「特定健康診査の見方と生活習慣病予防について」	泉佐野市	エブノ泉の森ホール 1階ギャラリー	令和3年 3月14日

《高田 碧 医員》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
筑波大学医学類4年次社会医学実習でのオンライン講義	筑波大学	W E B	令和2年 6月16日

## 5 その他

### パンフレットの作成と配布

当センターの事業内容の紹介とがんの知識の啓発普及を図るために、当センターで作成したパンフレット類を希望する市町村や職域団体などに配布している。また、大阪府が発行しているパンフレットに当センター職員医師が委員として作成に携わっている。

◇大阪がん循環器病予防センター  
(センター紹介)

◇検診のご案内

◇自己検診で早期発見(乳がん自己検診法)

◇女性と健康小読本(大阪府発行)



## V 受診者満足度調査

## 1 概 要

大阪がん循環器病予防センターでは、平成21年度から、受診者を対象としてアンケート方式による受診者満足度調査を実施してきた。

アンケートは施設と検診車で受診者、それぞれ500人を目処に自己記入方式により実施してきたが、平成29年度からは施設、検診車隔年ごとに実施することにした。

令和2年度の実施期間及び回答者数は次のとおりである。

- ・ 検診車 10月12日から10月20日まで 513人

### (1) 年齢

「70歳以上」が33.7%と最も多く、次いで「60歳代」29.4%、「50歳代」19.1%の順であった。

### (2) 性別

「女性」82.0%、「男性」18.0%の割合で、女性の比率が高い要因としては、車検診を対象としており、従来から車検診での受診者の多くが女性であったことが一員と考えられる。

### (3) 受診項目

「肺がん検診」50.2%、「胃がん検診」47.9%、「大腸がん検診」46.9%、「子宮がん検診」45.3%、「乳がん検診」28.4%、の割合であった。

### (4) 受診した理由（複数回答）

「毎年受診」64.2%、次いで「その他」15.7%、「スタッフの対応が良い」11.7%、「検査精度が高いから」9.4%、「評判が良いから」7.8%、「近親者の勧め」が7.6%、「HPをみて」6.8%の順となっている。

### (5) 検診スタッフの言動・態度

「満足」92.3%、「ほぼ満足」5.3%で併せて97.6%を占め、「普通」2.2%、「やや不満」「不満」はなかった。

「満足」は92.3%と前回に比べ2.2ポイント増加した。（表25）

### (6) 診察、健診等の十分な説明

「満足」92.8%と前回に比べ2.2ポイント増加した。「ほぼ満足」5.2%で合わせて98.0%が満足しており、前回より2.6ポイント増加した。

なお、「普通」2.0%、「やや不満」「不満」はなしであった。（表26）

### (7) 健診にかかった時間

「思ったより早く受診できた」77.4%、「普通」20.8%、「思った以上に時間がかかった」1.8%となっている。

### (8) 次回も当センターを受診したいと思うか

「はい」と回答した受診者が92.3%、「いいえ」0.6%、「わからない」7.1%となっており、ほとんどの受診者が次回も当センターで受診したいと思っている。

### (9) センターに対する要望、改善点について

自由記載による当センターに対する要望や改善点についての質問では、全体で50件の意見があり、その内「感謝や満足、励まし」が20件で最も多く、全体の40.0%であった。

次いで「対応」に関する意見が多く9件18.0%であった。

表25 検診スタッフの言動・態度に対する満足度

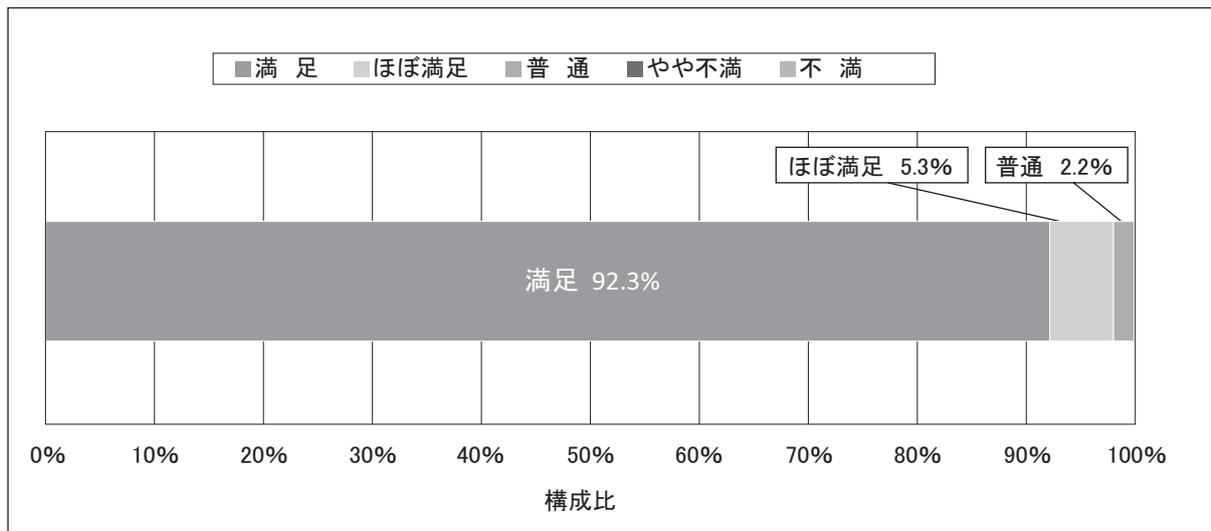
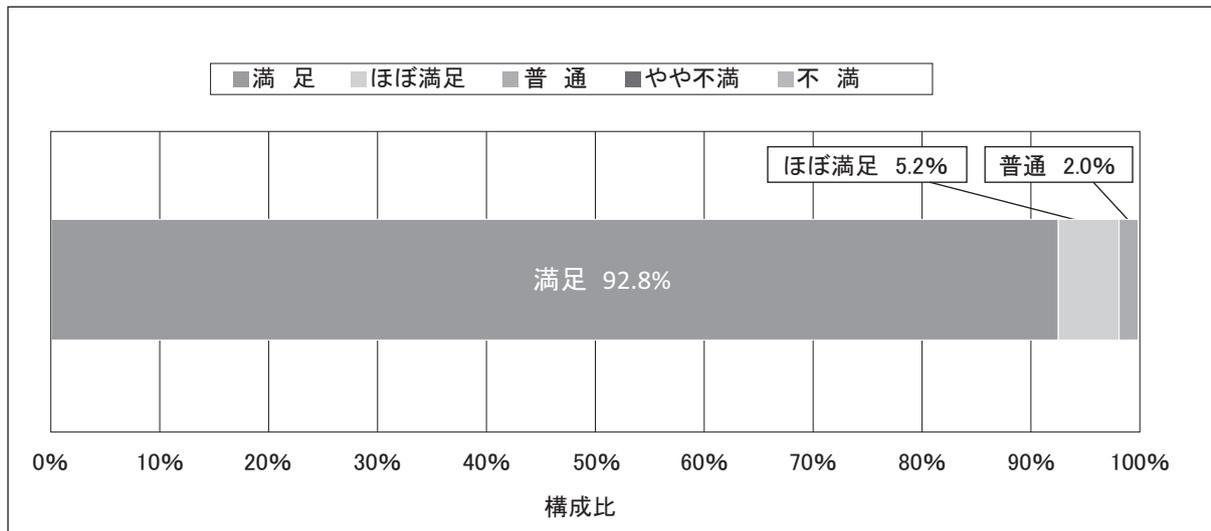


表26 診察、健診等の十分な説明に対する満足度



## 2 アンケート結果についての対応

本アンケートの結果を各所属に配布し、アンケートに寄せられた要望や改善点等の対応について、意見の提出を求めた。各所属では、まとめた意見をもとに順次改善のための対応を行うなど、アンケート結果を踏まえ、できるだけ多くの受診者の方に満足していただけるよう、今後ともセンター全職員「おもてなし」の心で対応させていただきたい。



## VI 研究及び研究支援

## 1 概 要

当センターでは、日常の検診業務、広報活動の他、国などの機関からの研究助成を受けて、がん及び循環器病の予防に向けた研究活動を行っている。職員は、専門領域での新技術の開発研究や検診の実態調査、疾患予防のための知識の普及活動にも取り組み、多くの関連学会・研究会の役員として活躍している。国など

の機関からの研究助成金、学会・研究会などの役員・委員、学会発表、学術講演、研究論文、著書などを以下に掲載する。

また、がん予防に関する研究やがん検診の普及活動などを行っている大阪府内の個人や団体を対象とした研究助成金の交付も行っている。

## 2 国などの研究班への参加

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
AMED 革新的がん医療実用化研究 開発事業（佐川班）	低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究	伊 藤 壽 記 (研究分担者)
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	伊 藤 壽 記 (研究協力者)
大阪大学—Di-CHILD（ダイキン情報科学研究ユニット）共同研究	五感を刺激する「癒しのスマート空間」を用いた新規認知機能低下予防およびメンタルケア戦略～ヒトと最新テクノロジーの共創に基づいた統合医療的アプローチ～	伊 藤 壽 記 (研究分担者)
厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団リスクの評価ツールの開発及び臨床応用のための研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 A	長期コホート研究による細菌・ウイルス感染の認知症発症への関与の疫学的解明	木 山 昌 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 B	要介護認知症の介入可能な促進・抑制因子解明のための大規模コホート共同研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	フレイル発症に及ぼす生活因子、医学的因子、社会的因子の影響：年齢層による差異	木 山 昌 彦 (研究分担者)

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 B	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	木 山 昌 彦 岡 田 武 夫 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 C	循環器疾患並びに認知症の発症予防に資する日本食の特徴の探索：長期縦断研究	木 山 昌 彦 (研究代表者)
	早期動脈硬化の諸指標による循環器疾患発症予測に関するコホート研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	大腸がん検診における組織型検診をめざした受診行動サポートシステムの構築	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	レセプトデータに基づく循環器疾患診断アルゴリズムの開発と妥当性検証	久 保 田 康 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 挑戦的研究(萌芽)	脳-腸-脂肪連関における腸内細菌叢の測定意義についての疫学研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	中年期からのサルコペニア早期予防を目的とした長期縦断疫学研究	久 保 田 康 彦 (研究分担者)

### 3 各種役員・委員

#### 【伊藤壽記 所長】

- ・日本組織移植学会 理事  
同 規約委員会委員長
- ・日本臓器保存生物医学学会 監事  
同 評議員
- ・日本肝胆膵外科学会 委員  
肝臓移植外科関連委員会
- ・臨床ゲノム医療学会 理事
- ・日本統合医療学会 理事長
- ・エビデンスに基づく統合医療研究会 理事長
- ・関西サイコオンコロジー研究会 世話人
- ・統合医療機能性食品国際学会（ICNIM） 会長

#### 【田中幸子 顧問】

- ・日本人間ドック学会 理事

#### 〈がん予防検診部門〉

##### 【和田公子 副所長兼 乳腺検診部長】

- ・吹田市乳がん検診精度管理委員会 委員
- ・大阪府がん対策推進委員会 委員

##### 【石田哲士 内視鏡検診部長】

- ・東大阪市胃がん検診運営委員会 外部委員
- ・富田林市胃内視鏡検診運営委員会 外部委員

##### 【山崎秀男 特任部長】

- ・日本消化器がん検診学会近畿支部 幹事

##### 【前田智聰 看護長】

- ・近畿消化器内視鏡技師会 理事

##### 【池宮城賀恵子 調査室長】

- ・日本消化器がん検診学会 検診従事者委員
- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部保健衛生研修委員会 運営委員
- ・豊中市乳がん検診精度管理委員会 委員

#### 【三浦一利 診療放射線技師室長】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 幹事  
同 編集委員
- ・日本消化器画像診断情報研究会 世話人
- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部放射線研修委員会 委員

#### 【久保文裕 診療放射線技師室室長代理】

- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部放射線研修委員会 委員

#### 【稲葉有美江 診療放射線技師室副主査】

- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部放射線研修委員会 会計

#### 【楠本美千代 診療放射線技師室副主査】

- ・大阪府診療放射線技師会 理事

#### 【末廣彬人 診療放射線技師】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 編集委員

#### 〈循環器病予防部門〉

##### 【山本昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長】

- ・八尾市衛生問題対策審議会 委員
- ・八尾市健康日本21八尾計画  
及び食育推進計画審議会 委員
- ・井川健康づくり管理指導員会 委員
- ・大阪府食育推進計画評価審議会 委員
- ・泉佐野市保健対策推進協議会 委員
- ・日本循環器病予防学会 評議員
- ・日本疫学会 代議員
- ・日本公衆衛生学会 代議員

##### 【岡田武夫 予防推進部長】

- ・日本疫学会 代議員
- ・日本医療情報学会 評議員
- ・大阪府国民健康保険団体連合会  
保健事業支援・評価委員会 委員

##### 【清水悠路 健康開発部長】

- ・日本疫学会 代議員
- ・日本公衆衛生学会 代議員

## 4 学会及び学術集会主催

1. 会 名： 第9回エビデンスに基づく統合医療研究会  
会 期： 令和2年10月24,25日 on site & Web 開催  
会 場： 大阪国際会議場  
実行委員長： 相原由香, 伊藤壽記

## 5 学会発表及び学術講演

### 〈がん予防検診部門〉

1. デジタルマンモグラムのFAD (Focal asymmetric density) 所見における患側線量増加の検証  
第30回日本乳癌検診学会学術総会；2020年11月 仙台  
稲葉有美江, 楠本美千代, 房永佳那, 辻本百合恵, 三浦一利, 濱田未佳, 和田公子 矢竹秀稔

### 〈循環器病予防部門〉

1. 高LDL コレステロール血症とそれに関連する食習慣の推移  
第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
岡田武夫, 高田 碧, 宮崎純子, 伯井朋子, 清水悠路, 木山昌彦
2. 甲状腺嚢胞の影響を考慮した潜在性甲状腺機能低下症と高血圧の関係  
第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
清水悠路, 小屋松 淳, 山梨啓友, 玉井慎美, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩, 林田直美
3. VEGF 一塩基多型(rs3025020)と高血圧の関係  
第81回日本生理人類学会；2020年10月 オンライン開催  
清水悠路, 安部恵代, 有馬和彦, 野口優子, 小屋松 淳, 山梨啓友, 川尻真也, 前田隆浩
4. Development of atherosclerosis as an adaptation for age-related physical changes  
(和文：加齢に伴う身体的変化適応としての動脈硬化形成)  
Nagasaki-Leiden University Joint Symposium: The Clinical Science of Healthy Ageing. (和文：ライデン大学・長崎大学合同シンポジウム:健康的長寿に関する臨床科学)；2020年11月 オンライン開催  
清水悠路
5. 日本人における身長と大動脈疾患死亡との関連 -the JACC study-  
第56回日本循環器病予防学会学術総会；2020年12月 オンライン開催  
高田 碧, 山岸良匡, 磯 博康, 玉腰暁子
6. 甲状腺機能正常者におけるHbA1cと甲状腺嚢胞の関係  
第91回日本衛生学会総会；2021年3月 オンライン開催  
清水悠路, 川尻真也, 野口優子, 永田康浩, 前田隆浩, 林田直美
7. 食品の摂取状況とプレサルコペニア発症に関する追跡研究：CIRCS 研究  
第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
岸田里恵, 山岸良匡, 陣内裕成, 安岡実佳子, 田中麻理, 丸山広達, 羽山実奈, 村木 功, 崔 仁哲, 今野弘規, 山海知子, 岡田武夫, 北村明彦, 木山昌彦, 磯 博康

8. **運動習慣とサルコペニア発症に関する追跡研究：CIRCS 研究**  
 第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
 木村仁美，山岸良匡，岸田里恵，陣内裕成，安岡実佳子，田中麻理，清水悠路，村木 功，崔 仁哲，  
 今野弘規，山海知子，岡田武夫，北村明彦，木山昌彦，磯 博康
9. **平成20年代における日本人女性の閉経に伴う循環器疾患リスク因子の変化：CIRCS 研究**  
 第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
 寺村紗季，山海知子，山岸良匡，梅澤光政，岸田里恵，田中麻理，木原朋未，今野弘規，崔 仁哲，  
 羽山実奈，村木 功，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦，磯 博康
10. **産官学連携健康寿命延伸プラットフォーム1～伴走型事業支援～**  
 第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
 松本真由美，高橋 愛，川端陽子，島 良一，樺山 舞，岡田武夫，神出 計
11. **産官学連携健康寿命延伸プラットフォーム2～地域みまもり推進事業～**  
 第79回日本公衆衛生学会総会；2020年10月 オンライン開催  
 高橋 愛，松本真由美，川端陽子，島 良一，樺山 舞，岡田武夫，神出 計
12. **海藻の摂取量と循環器疾患発症リスクとの関連：  
 The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
 第56回日本循環器病予防学会学術総会；2020年12月 オンライン開催  
 秩父陽香，山岸良匡，岸田里恵，丸山広達，山海知子，久保田康彦，村木 功，崔 仁哲，今野弘規，  
岡田武夫，木山昌彦，磯 博康
13. **3地域住民の非糖尿病患者における、男女別・時間帯別にみた血糖変動に関する検討：The Circulatory Risk  
 in Communities Study (CIRCS)**  
 第56回日本循環器病予防学会学術総会；2020年12月 オンライン開催  
 石原真穂，今野弘規，村木 功，山岸良匡，丸山広達，羽山実奈，久保田康彦，岡田武夫，木山昌彦，  
 磯 博康

## 6 研究論文・著書

〈所長〉

1. Sanguisorba officinalis L. derived from herval medicine prevents intestinal inflammation by inducing autophagy in macrophages.  
Scientific Reports 2020 ;10  
A. Yasueda, H. Kayama, M. Murohashi, J. Nishimura, K. Wakame, K. Komatsu, T. Ogino, N. Miyoshi, H. Takahashi, M. Umemura, C. Matsuda, T. Kitagawa, K. Takeda, T. Ito, Y. Doki, H. Eguchi, S. Shimizu, T. Mizushima.
2. Impact of pancreas transplantation on the patient survival – An analysis of the Japanese Pancreas Transplants Registry.  
J Clin Med 2020 ; (9)  
T. Kenmochi, N. Aida, H. Matsushima, K. Kurihara, T. Ishihara, A. Shintani, T. Asaoka, T. Ito
3. Pancreas transplantation for type 1 diabetes in Japan: past, present and future prospects.  
Global Health & Medicine 2020 ; 2(6) : 360-366  
T. Awata, T. Kenmochi, Y. Tomimaru, H. Eguchi, T. Ito, M. Shimoda
4. Current state pancreas transplantation Japan based on the nationwide registry.  
Annals of Gastroenterological Surgery 2020  
Y. Tomimaru, H. Eguchi, Y. Doki, T. Ito, T. Kenmochi
5. 超高齢社会における、持続可能な健康長寿社会を目指して  
大阪防疫協会誌 (Makoto) 2020 ; 192 : 2-11  
伊藤壽記
6. 我が国における統合医療の未来構想の実現に向けて  
日本統合医療学会誌 2020 ; 13(1) : 1-5  
伊藤壽記
7. 本邦膵移植症例登録報告  
日本移植学会誌「移植」 2020 ; 55(3) : 277-283  
富丸慶人, 伊藤壽記, 剣持 敬

〈がん予防検診部門〉

1. Effectiveness of Contrast Enhanced Ultrasonography for the Characterization of Small and Early Stage Pancreatic Adenocarcinoma.  
Ultrasound in Medicine and Biology 2020 ; 46(9) : 2245–2253  
Sachiko TANAKA, Junko FUKUDA, Miho NAKAO, Tatsuya IOKA, Reiko ASHIDA, Rena TAKAKURA, Suetsumi OKAGAKI, Kazuhiro KATAYAMA, Kazuyoshi OHKAWA, Kenji IKEZAWA, Shigenori NAGATA
2. Predictive Factors for Pancreatic Cancer and Its Early Detection Using Special Pancreatic Ultrasonography in High-risk Individuals.  
Cancers 2021 ; 13(3) : 502  
Junko FUKUDA, Kenji IKEZAWA, Miho NAKAO, Suetsumi OKAGAKI, Reiko ASHIDA, Tatsuya IOKA, Sachiko TANAKA, et. Al.
3. A Case of Stage 0 Pancreatic Adenocarcinoma (High-grade PanIN) incidentally Detected on Routine Screening Ultrasonography.  
Ningen Dock International 2021 ; 8(1) : 59–63  
Sachiko TANAKA, Mikako MIYAMOTO, Anri SUGIMOTO, Hiromi NISHIYAMA, Tomomi NAKAGAWA, Ayano HARA, Chika YOSHINO, Rena TAKAKURA, Hiroyuki UEHARA
4. 超音波による膵疾患の診断  
診断と治療 2020 ; 108(8) : 989–994  
田中幸子, 福田順子
5. 経腹超音波膵臓領域精密撮像方法  
臨床消化器内科 2020 ; 35(9) : 913–916  
田中幸子, 福田順子, 大川和良

〈循環器病予防部門〉

1. Serum uric acid and risk of stroke and its types: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
Hypertens Res. 2020 ; 43(4) : 313–321  
Li J, Muraki I, Imano H, Cui R, Yamagishi K, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H; CIRCS investigators.
2. Cardiovascular reactivity to acute stress associated with sickness absence among Japanese men and women: A prospective study  
Brain Behav 2020 ; 10(4)  
Hirokawa K, Ohira T, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H.
3. A method for measuring glycerol-blanked triglyceride concentrations by using gas chromatography-isotope dilution mass spectrometry  
Ann Clin Biochem. 2020 ; 57(3) : 253–261  
Koyama I, Imano H, Nakamura M, Kitamura A, Kiyama M, Miyamoto Y, Iso H.
4. Relationship of handgrip strength with the presence of cerebral microbleeds and platelet count in older Japanese adults  
Oncotarget 2020 ; 11(19) : 1705–1713  
Yamanashi H, Nagaoki K, Kanbara S, Shimizu Y, Murase K, Tsujino A, Maeda T

5. **Human T-cell lymphotropic virus type-1 infection associated with sarcopenia: community-based cross-sectional study in Goto, Japan**  
Aging (Albany NY). 2020 ;12(15) :15504-15513  
Yamanashi H, Nobusue K, Nonaka F, Honda Y, Shimizu Y, Kawashiri SY, Izumida M, Kubo Y, Tamai M, Nagata Y, Yanagihara K, Kulkarni B, Kinra S, Kawakami A, Maeda T
  
6. **Overweight and Hypertension in Relation to Chronic Musculoskeletal Pain Among Community-Dwelling Adults: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
J Epidemiol. 2020  
Kakihana H, Jinnouchi H, Kitamura A, Matsudaira K, Kiyama M, Hayama-Terada M, Muraki I, Kubota Y, Yamagishi K, Okada T, Imano H, Iso H.
  
7. **Potential mechanisms underlying the association between single nucleotide polymorphism (BRAP and ALDH2) and hypertension among elderly Japanese population**  
Scientific Reports 2020 ;10(1)  
Shimizu Y, Arima K, Noguchi Y, Kawashiri SY, Yamanashi H, Tamai M, Nagata Y, Maeda T
  
8. **Job stress factors measured by Brief Job Stress Questionnaire and sickness absence among Japanese workers: A longitudinal study**  
Fukushima J Med Sci. 2020 ;66(2) :88-96  
Hirokawa K, Ohira T, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H.
  
9. **Moderate Levels of N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide is Associated with Increased Risks of Total and Ischemic Strokes among Japanese: The Circulatory Risk in Communities Study**  
J Atheroscler Thromb 2020 ;27(8) :751-760  
Ebihara K, Yamagishi K, Umesawa M, Muraki I, Cui R, Imano H, Kubota Y, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Ohira T, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
  
10. **Relationship between Endothelial Dysfunction and Prevalence of Chronic Kidney Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
J Atheroscler Thromb. 2020  
Li Y, Cui R, Liu K, Eshak ES, Cui M, Dong J, Imano H, Muraki I, Kiyama M, Kitamura A, Okada T, Yamagishi K, Umesawa M, Ohira T, Iso H; CIRCS investigators.
  
11. **Normal range of anti-thyroid peroxidase antibody (TPO-Ab) and atherosclerosis among eu-thyroid population: A cross-sectional study**  
Medicine (Baltimore) 2020 ;99(38)  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
  
12. **Joint impact of muscle mass and waist circumference on type 2 diabetes in Japanese middle-aged adults: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
J Diabetes. 2020 ;12(9) :677-685  
Yasuoka M, Muraki I, Imano H, Jinnouchi H, Kubota Y, Hayama-Terada M, Umesawa M, Yamagishi K, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
  
13. **Urinary 8-Hydroxy-2'-Deoxyguanosine Levels and Cardiovascular Disease Incidence in Japan**  
J Atheroscler Thromb 2020 ;27(10) :1086-1096  
Nagao M, Kobashi G, Umesawa M, Cui R, Yamagishi K, Imano H, Okada T, Kiyama M, Kitamura A, Sairenchi T, Haruyama Y, Ohira T, Iso H; CIRCS Investigators.

14. **Effects of brief self-exercise education on the management of chronic low back pain: A community-based, randomized, parallel-group pragmatic trial**  
Mod Rheumatol. 2020  
Jinnouchi H, Matsudaira K, Kitamura A, Kakihana H, Oka H, Hayama-Terada M, Yamagishi K, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
15. **Associations of Carotid Intima-Media Thickness and Plaque Heterogeneity With the Risks of Stroke Subtypes and Coronary Artery Disease in the Japanese General Population: The Circulatory Risk in Communities Study**  
J Am Heart Assoc. 2020 ;9(19)  
Shimoda S, Kitamura A, Imano H, Cui R, Muraki I, Yamagishi K, Umesawa M, Sankai T, Hayama-Terada M, Kubota Y, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Iso H.
16. **Associations between thyroid-stimulating hormone and hypertension according to thyroid cyst status in the general population: a cross-sectional study**  
Environmental Health and Preventive Medicine 2020 ;25(1)  
Shimizu Y, Nabeshima-Kimura Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
17. **Impact of hypertension stratified by diabetes on the lifetime risk of cardiovascular disease mortality in Japan: a pooled analysis of data from the Evidence for Cardiovascular Prevention from Observational Cohorts in Japan study**  
Hypertens Res. 2020 ;43(12) :1437-1444  
Imai Y, Hirata T, Saitoh S, Ninomiya T, Miyamoto Y, Ohnishi H, Murakami Y, Iso H, Tanaka S, Miura K, Tamakoshi A, Yamada M, Kiyama M, Ueshima H, Ishikawa S, Okamura T; Evidence for Cardiovascular Prevention from Observational Cohorts in Japan (EPOCH-JAPAN) Research Group.
18. **Reduced renal function and stroke subtypes**  
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 2020  
Shimizu Y
19. **Salt taste perception and blood pressure levels in population-based samples: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
Br J Nut 2021 ;125(2) :203-211  
Kudo A, Kitamura A, Imano H, Cui R, Umesawa M, Yamagishi K, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Kiyama M, Iso H; for CIRCS Investigators.
20. **A Combination of Blood Pressure and Total Cholesterol Increases the Lifetime Risk of Coronary Heart Disease Mortality: EPOCH-JAPAN**  
J Atheroscler Thromb 2021 ;28(1) :6-24  
Sakata K, Irie F, Sairenchi T, Ishikawa S, Kiyama M, Okayama A, Miura K, Imai Y, Ueshima H, Okamura T; Evidence for Cardiovascular Prevention from Observational Cohorts in Japan (EPOCH-JAPAN) Research Group.
21. **Possible mechanisms underlying the association between human t-cell leukemia virus type 1 (HTLV-1) and hypertension in elderly Japanese population.**  
Environmental Health and Preventive Medicine 2021 ;26(1)  
Shimizu Y, Arima K, Noguchi Y, Kawashiri SY, Yamanashi H, Tamai M, Nagata Y, Maeda T.

22. Association between serum sodium level within normal range and handgrip strength in relation to hypertension status: a cross-sectional study  
Scientific Reports 2021 ; 11(1)  
Shimizu Y, Yamanashi H, Fukui S, Kawashiri SY, Nagata Y, Maeda T.
23. Anti-thyroid peroxidase antibody and subclinical hypothyroidism in relation to hypertension and thyroid cysts  
PLoS One 2021 ; 15(10)  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N.
24. Serum High-Sensitivity C-Reactive Protein Levels and the Risk of Atrial Fibrillation in Japanese Population: the Circulatory Risk in Communities Study  
J Atheroscler Thromb 2021 ; 28(2) : 194–202  
Tanaka M, Imano H, Kubota Y, Yamagishi K, Umesawa M, Muraki I, Cui R, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Okada T, Ohira T, Sankai T, Tanigawa T, Sato S, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; and the CIRCS Investigators.
25. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated With the Frequency of Laughter: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS), a Longitudinal Study of the Japanese General Population  
J Epidemiol. 2021 ; 31(2) : 125–131  
Ikeda S, Yamagishi K, Hori M, Kubo S, Sata M, Okada C, Umesawa M, Sankai T, Kitamura A, Kiyama M, Ohira T, Tanigawa T, Iso H.
26. Seaweed Intake and Risk of Cardiovascular Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Atheroscler Thromb. 2021  
Chichibu H, Yamagishi K, Kishida R, Maruyama K, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Tanigawa T, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
27. Contribution of VEGF polymorphism rs3025020 to short stature and hypertension in elderly Japanese individuals: a cross-sectional study  
Journal of Physiological Anthropology 2021 ; 40(1)  
Shimizu Y, Yamanashi H, Kawashiri SY, Nobusue K, Nonaka F, Noguchi Y, Honda Y, Arima K, Abe Y, Nagata Y, Maeda T.
28. Influence of height on endothelial maintenance activity: a narrative review  
Environmental Health and Preventive Medicine 2021 ; 26(1)  
Shimizu Y, Maeda T
29. Serum Albumin and Risks of Stroke and Its Subtypes – The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
Circ J. 2021 ; 85(4) : 385–392  
Li J, Imano H, Yamagishi K, Cui R, Muraki I, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H; CIRCS Investigators.
30. Impact of Major Cardiovascular Risk Factors on the Incidence of Cardiovascular Disease among Overweight and Non-Overweight Individuals: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Atheroscler Thromb. 2021  
Matsumura T, Sankai T, Yamagishi K, Kubota Y, Hayama-Terada M, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H.

31. Leukocyte Count and Risks of Stroke and Coronary Heart Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)

J Atheroscler Thromb. 2021

Li J, Imano H, Yamagishi K, Tanaka M, Cui R, Muraki I, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H; CIRCS Investigators.

## 7 受賞及び表彰

〈循環器病予防部門〉

1. 日本人における身長と大動脈疾患死亡との関連 -the JACC study-  
予防医学賞 最優秀賞  
第10回日本循環器病予防学会；2021年2月13日  
高田 碧，山岸良匡，磯 博康，玉腰暁子

## 8 大阪がん予防対策基金

当センターでは、がん予防に関する研究・研修・啓発の促進を目的に、各界各層からのご寄附・浄財により「大阪がん予防対策基金」を設けている。  
令和2年度寄附金額は、マスクの購入代を含め7,210円で設立当初よりのご寄附額は累計で200,464,566円となっている。この基金による事業の一環として、がん予防対策基金研究助成金制度を設け、医療従事者等のがん関連の調査研究に対して助成を行っているが、2年度事業として3件の研究に助成を行った。

### (1) 大阪がん予防対策基金寄附状況

令和2年度対策基金寄附内訳

・10万円以上	0件	0円
・10万円未満	1件	2,000円
・マスク購入代	多数	5,210円
2年度寄附金合計		7,210円
設立当初よりの寄附金累計額		200,464,566円

### (2) 大阪がん予防対策基金研究助成

- <受贈者> 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
肝胆膵内科 膵検査室 池澤 賢治
- <研究内容> 膵がんの早期発見向上を目指した新規膵検診プランの有効性
- <受贈者> 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
血液内科 藤 重夫
- <研究内容> 大阪府における HTLV1感染の実態把握の為の調査研究
- <受贈者> 大阪がん循環器病予防センター 婦人科細胞診断部  
代表：呉 美優貴
- <研究内容> 閉経後の要精検者に対する q16 免疫組織化学染色の有効性

### (3) 大阪がん予防対策基金研究助成交付者一覧表

年度	交付者名（団体・代表者名）	研究課題
昭和62年度	大阪府医師会臨床検査センター	肺癌集団検診のための集細胞喀痰細胞診の開発
	大阪がん予防検診センター	がんの一次予防のための新しい健康教育システムの開発
	大阪がん予防検診センター 河島輝明	胃がんの進展速度に関する研究
昭和63年度	大東保健所 柳 尚夫	がんを中心とした成人病の一次予防のための健康教育の地域での実践的研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
昭和63年度	八尾保健所 伊藤 裕 康	保健所におけるがん死亡データの活用方法の開発
	吹田市立保健センター	特定年齢(40歳・50歳)を対象とした総合健康診査の実施
	美原町健康推進室 石澤 靖子	美原町における包括的・効果的がん予防活動のあり方
	城東区医師会	医師会としての大腸がん集団検診への積極的取り組み
	藤井寺市医師会	集団検診における悪性腫瘍の発見及び頻度
	大阪市保健指導研究会	乳がん自己検診法の指導の評価
	がん予防研究会	肺がん予防のための禁煙教室の開催
	大阪がん予防検診センター 検査部	細胞診による子宮体癌検診のための新しい内膜細胞採取器具の開発
	大阪がん予防検診センター 内視鏡検診部 岡野 彌 高	胃がん検診における内視鏡第1次精検の新しい試み
平成1年度	枚方保健所	生活習慣における発がんのリスクファクターについて
	大阪府母子保健総合医療センター	乳児神経芽腫スクリーニングにおける要精検カットオフ値の検討と設定
	門真市役所	乳がん検診における自己検診法の普及について
	箕面市医療保健センター	箕面市における各種がん検診評価に関する研究
	近畿大学医学部 第一外科	乳癌集団検診でのマンモグラフィと超音波の有用性の比較検討
	大阪市環境保健局保健部 保健管理課	胃部X線集団検診における方向表示器の活用について
	大阪市環境保健局 健康指導課	超音波検診による乳がん集団検診について
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	子宮体癌診断精度向上に関する研究
	大阪がん予防検診センター 看護婦グループ	胃がん検診要精検者に対する内視鏡のオリエンテーションVTR作成とその活用効果について
	大阪がん予防検診センター 診療放射線グループ	レントゲン検診部門管理システムのネットワーク化について
平成2年度	柏原中小企業健康問題研究会	中小企業における禁煙、肥満教育
	寝屋川保健所 堀毛 輝江	禁煙・飲酒に関する地域健康教育ネットワークシステムの研究 —酒害対策の発展を踏まえて—
	東大阪市保健衛生部	乳がん予防のための健康教育のあり方
	寝屋川市学校保健教育研究会	寝屋川市における小中学生の喫煙状況の実態調査と喫煙防止の指導のあり方の研究
	大阪市住之江区医師会	住之江区における大腸がん集団検診

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成2年度	岸和田徳州会病院 消化器内科	大腸癌の早期発見及び内視鏡的治療
	大阪市保健衛生検査所	集団検診による神経芽細胞腫の特性と疫学的事項に関する研究
	大阪がん予防検診センター 三木 信 夫	消化器総合検診(胃・大腸同時集検)の検討
	大阪がん予防検診センター 宮本真由美	集検発見胃癌患者の予後の分析
	大阪がん予防検診センター 田路 英 作	子宮頸部上皮細胞のHPV(Human Papilloma Virus)感染様式の検討とその臨床応用に関する研究
	大阪がん予防検診センター 布引 治	子宮体癌スクリーニングに適した新しい標本作製方法の試み
平成3年度	古妻クリニック 古妻 嘉一	関西新空港による生活環境の変化に基づく乳がんの一次予防に関する研究
	近畿大学医学部 光林 茂	ポリメラーゼ $\alpha$ による膀胱腫瘍増殖能の検討
	大阪府立公衆衛生研究所 中村 清一	環境変異原を不活性化する生体成分について
	大阪府立公衆衛生研究所 原 嘉宏	子宮頸癌の危険因子に関する研究
	大阪市交通局 健康管理室	がん検診による早期発見の可能性と限界について
	大阪市保健指導研究会	子宮がん(頸部)検診でがんと診断された者の受診態様からみた検診の有り方について
	大阪がん予防検診センター 綿谷 正弘	乳癌一次検診へのマンモグラフィの導入—肥満女性に対するマンモグラフィの検討から—
	大阪がん予防検診センター 山本 倫子	HPV感染の指標となる細胞診パターンの確認
	大阪がん予防検診センター 検査部	Papanicolaou 染色標本における細胞移動の試み
	大阪がん予防検診センター 桑野 忠雄	胃集検におけるX線照射線量低減のための体側フィルタの製作
	大阪がん予防検診センター 安達 正子	乳房自己検診法(BSE)指導方法についての検討
	大阪がん予防検診センター 横溝 美穂	妊婦とその家族を対象とした禁煙指導の有効性評価に関する研究
	平成4年度	大阪中央病院産婦人科 前田 隆義
泉佐野保健所		受動喫煙の灰中ニコチンによる定量的評価と禁煙・分煙
八尾保健所		胸部間接撮影における描出能と有用性の検討
岸和田保健所		トータルヘルスをめざした健康教育の有効に関する研究—保健所を中心にして—
大阪市保健衛生検査所		乳癌集団検診で使用している水浸式超音波診断装置(オクトソン方式)の撮影条件の検討
大阪がん予防検診センター 検診第2部		新しい自己細胞採取器具(マイハップ)による子宮頸部細胞診臨床試験

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成4年度	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部ヒト乳頭腫ウイルス感染症の Follow up について
	大阪がん予防検診センター 山本兼右	当センターにおけるパソコン利用の一考察—がん患者画像データベース—
	大阪がん予防検診センター 大森美恵子	大腸がん精密検査における不安及び緊張の緩和に関する研究
	大阪がん予防検診センター 遠藤幸子	がん検診情報システムの更新にあたっての取り組み
平成5年度	北摂病院 御前治	妊婦における細胞診の必要性とその要精検妊婦の管理
	吹田市医師会がん検診部会	乳がん個別検診のデータ解析による成績評価と今後の展望
	堺市宿院保健所 淵 勲	がん予防・健康講座の実践
	池田保健所	地域・職域における効果的な禁煙指導法の開発・普及のための研究
	吹田保健所	大腸がん検診における精密検査実施状況及び実施体制の実態調査
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	細胞診における新しい判定方法“ベセスダシステム”についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸がん検診精度管理に関する研究(細胞診誤陰性例のチェック方法とその再検討)
	大阪がん予防検診センター 中川智美	便潜血検査判定による大腸がん検診の精度
	大阪がん予防検診センター 矢竹秀稔	胃集検用硫酸バリウム製剤(145W/V ゾル)の総合的評価についての研究
	大阪がん予防検診センター 田端和代	子宮がん精密検査受診率向上についての検討
平成6年度	堺市医師会呼吸器疾患談話会	F C R を用いた肺癌早期発見の研究
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	泉佐野市保健センター	泉佐野市における胃がん検診—計画検診の3年間のまとめ—
	八尾保健所	肺がんの発生と呼吸器疾患既往歴との関連
	大阪市環境保健協会	発見大腸がん患者等についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部における接着分子(カドヘリン)の発現と組織—細胞所見
	大阪がん予防検診センター 牧本和代	大腸がん検診における精検方法の改良に関する研究—主として前処置について—
平成7年度	石切生喜病院 山片重房	乳がん・子宮がん複合検診の効用と効果
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	豊中保健所 森定一稔	豊中市におけるがん死亡の地域特性について

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成7年度	熊取町大腸がん検診研究グループ	健康教室・住民説明会を併用した大腸がん検診の精度
	胃集団検診研究会	胃集検用高濃度バリウムの有用性について
平成8年度	旭区医師会肝臓検診グループ	効率の良い肝臓検診の確立
	大阪がん予防検診センター 濱田紘一郎	子宮頸部腺系初期癌および前癌病変の早期診断・治療・管理に関する研究
	大阪がん予防検診センター 前田喜徳	がんに関する検診の調査研究
平成9年度	禁煙サポートグループ	成人病専門施設で働く看護婦の禁煙指導の現状と課題
	本多正治	免疫学的便潜血検査法によって発見された大腸癌の解析と効果的な検診方法の検討
	大阪市婦人科腫瘍研究グループ	頸部擦過細胞診を用いた PCR 法による HPV - DNA 検出法とタイピング法の有用性の検討
平成10年度	谷口定之	子宮頸がん検診に関する臨床的研究
	府立羽曳野病院 第2内科	小細胞肺癌患者の長期生存例における第2癌の発生ならびに晩発性再発についての因子解析
平成11年度	旭区医師会肝臓検診グループ	「効率の良い肝臓検診の確立」肝臓早期発見のため検診対象者の設定、検診方法、検診間隔の設定
	肝疾患対策研究グループ	地域における肝がん予防対策推進に関する研究
平成12年度	関西労働保険協会	腹部(肝臓, 胆嚢, 膵臓, 腎臓)超音波検診の精度
	府立羽曳野病院 外科	喫煙係数からみた肺癌手術予後
平成13年度	大阪鉄道病院 保健管理部消化器科	職員検診を活用した肝細胞癌の予防・早期発見システムの構築
平成15年度	大阪がん予防検診センター 岡野彌高	検診機関におけるヘリコバクターピロリ菌陽性潰瘍例の除菌療法の評価と追跡調査の検討
	大阪府立成人病センター 福島良志幸	
平成16年度	枚方市立枚方市民病院 外科	乳癌の早期発見(マンモグラフィの有用性の検討)
平成17年度	堺市医師会乳がん検診	マンモグラフィ併用乳がん検診の有用性について
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん集団検診における高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤のmA s 値の評価
平成18年度	枚方市妊産婦への禁煙支援グループ	妊婦禁煙と出産後の禁煙継続のための支援プログラム
	貝塚市健康づくり推進委員会	各校区毎の健康教室の開催や、大腸がん検診のスティック配布によりがん予防に対する知識を地域に広め、がん検診受診率の向上に寄与する

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成18年度	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部 植田政嗣	婦人科癌における遺伝子多型解析
平成19年度	大阪がん予防検診センター 乳腺検診部 森田眞照	乳癌マンモグラフィ検診の普及と精度向上を目指して
	大阪がん予防検診センター 臨床検査室 田路英作	HPV検査(HC-2)法におけるハイリスク陽性症例の子宮頸部細胞診所見
平成20年度	大東市 健康いきがい課 足立安正	肺がん検診が禁煙指導に及ぼす影響
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん検診における高濃度と中濃度硫酸バリウム製剤のX線被曝線量評価に関する研究
平成22年度	大阪府四条畷保健所 企画調整課 山口和子	未成年者に対する喫煙防止教育の充実
	府中病院 消化器内科 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の受診率・精検受診率の向上に向けた活動
	大阪がん予防検診センター 乳がん検診看護チーム 浅井恵美子	大阪府の乳がん検診受診率の向上を目指した、地域ボランティアシステムの構築
平成23年度	泉大津市立保健センター 鈴木友子	子育て世代に対する子宮がん予防の効果的な啓発について
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 田淵貴大	医療保険等の社会的背景に基づくがん検診受診率格差の実証的研究
	市立貝塚病院 乳がん高度検診・治療センター 山口美保子	外来看護師の積極的介入による若年者への乳がんの検診受診の啓発
平成24年度	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 伊藤ゆり	大阪府における市町村がん検診の検診精度管理指標に関する分析
	生長会府中大腸がん検診研究会 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の普及に向けた住民講座などの啓発活動
平成25年度	田附興風会医学研究所北野病院 八隅秀二郎	地域ぐるみの連携システムの構築
	PANDRA PROJECT 井岡達也	膀胱癌早期診断を目指した適正な検診間隔を検討するための研究
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡亜希子	神経芽細胞腫マスキング中止による影響評価に関する研究
平成26年度	医療法人橘会東住吉森本病院 地域医療連携センター 地域がん対策チーム 田中宏	院内がん登録を基礎とした当地区における癌の特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究
	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本兼右	注腸X線検査における受診者の被ばく線量(実効線量)の算出と生涯がん死亡リスクの推定
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 植田政嗣	ベセスダシステム異型腺細胞の臨床病理学的背景ならびにHPV感染に関する研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成27年度	和泉市医師会「胃がんリスク検査」研究会 廣岡大司	H. pylori 血清抗体(以下HP抗体)とPG検査で行う「胃がんリスク検査」の確立, 胃がん予防, 診断, その成果・問題点についての検討
	森島敏隆 (大阪府立成人病センターがん予防情報センター)	喫煙習慣が肺がん患者の生存期間に及ぼす影響
平成28年度	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本兼右	胃がんX線検診における受診者の被ばく線量の算出 －Flat Panel Detector (FPD) デジタル撮影－
平成29年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 佐藤 亮	がんサバイバーに対するがん検診の意義に関する研究
	ダイハツ保健センター	職域における疾病早期発見対策として導入した甲状腺エコー検査の実績と、その評価
平成30年度	市立豊中病院 消化器外科 富丸 慶人	十二指腸乳頭癌における他臓器重複癌の調査および十二指腸乳頭癌早期発見プロジェクトの開発
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	病理医だけが知っている肺癌と喫煙の関係
令和1年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	喫煙 DNA メチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究
	大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ 代表：浅井恵美子	がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価
令和2年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター肝胆膵内科膵検査室 池澤 賢治	膵がんの早期発見向上を目指した新規膵検診プランの有効性
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫	大阪府における HTLV1感染の実態把握の為の調査研究
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科細胞診断部 代表：呉 美優貴	閉経後の要精検者に対する q16 免疫組織化学染色の有効性



# 資 料 編



## **Ⅶ がん検診結果集計資料**

1-1(1) 胃がん検診実績表 (施設検診・車検診号車別)

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
1号	0	0	261	487	369	699	677	530	507	451	567	416	4,964
検診回数	0	0	9	15	11	18	20	15	17	15	17	15	152
2号	0	0	258	537	350	719	743	658	580	400	426	428	5,099
検診回数	0	0	8	17	12	24	24	19	17	13	14	15	163
8号	0	0	563	411	167	522	583	746	594	445	538	435	5,004
検診回数	0	0	15	13	7	17	19	21	18	13	18	15	156
12号	0	0	421	456	330	464	669	578	410	125	476	390	4,319
検診回数	0	0	13	14	12	14	20	18	12	4	17	13	137
車合計	0	0	1,503	1,891	1,216	2,404	2,672	2,512	2,091	1,421	2,007	1,669	19,386
検診回数	0	0	45	59	42	73	83	73	64	45	66	58	608
施設	105	1	845	1,158	1,026	1,333	1,350	1,161	967	693	762	1,166	10,567
検診回数	10	1	23	21	20	20	22	19	19	18	18	23	214
総合計	105	1	2,348	3,049	2,242	3,737	4,022	3,673	3,058	2,114	2,769	2,835	29,953
検診回数	10	1	68	80	62	93	105	92	83	63	84	81	822

# 1- (2) 胃がん検診結果集計表

対象期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

X線 地域合計 (27市町村) 職域合計 (136団体) 検診友の会等合計	受診数	要精検 (%)	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果						39才以下 の割合	初回 の割合					
						胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍癒痕	その他			異常なし	治療切除	非治療切除	その他	不明
	19390	1464	7.6	1294	88.4	27	23	189	25	61	930	62	27	0	0	0	0.7	17.7
	8097	341	4.2	286	83.9	1	1	44	2	4	206	29	1	0	0	0	15.4	21.0
	117	9	7.7	9	100.0	0	0	0	0	1	5	3	0	0	0	0	18.8	16.2
X線合計	27604	1814	6.6	1589	87.6	28	24	233	27	66	1141	94	28	0	0	0	5.1	18.7
(1度目の読影で要精検)	1270			1107	87.2	23	19	167	21	54	781	61	23	0	0	0	2.9	23.5
(2度目の読影で要精検)	544			482	88.6	5	5	66	6	12	360	33	5	0	0	1	3.9	20.0

内視鏡 内視鏡合計	受診数	要精検 (%)	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果						39才以下 の割合	初回 の割合					
						胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍癒痕	その他			異常なし	治療切除	非治療切除	その他	不明
	2349	54	2.3	48	88.9	2	2	3	1	0	40	2	2	0	0	0	6.0	22.3
総合計	29953	1868	6.2	1637	87.6	30	26	236	28	66	1181	96	30	0	0	0	5.1	18.9

1- (3) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴		1年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	胃がん		精検結果		異常なし	
			初	回							率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起		潰瘍
【男】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
30～34	14	0.2	9	3	0	2	2	14.3	2	100.0	0	0	0	0	2	0
35～39	25	0.3	18	4	0	3	2	8.0	2	100.0	0	0	0	0	2	0
40～44	454	5.7	247	133	74	74	44	9.7	32	72.7	0	0	3	0	25	4
45～49	585	7.3	163	281	141	141	29	5.0	22	75.9	0	0	2	2	15	3
50～54	670	8.4	175	330	165	165	56	8.4	41	73.2	0	0	2	0	36	3
55～59	670	8.4	141	341	164	164	57	8.8	48	84.2	1	1	7	1	36	3
60～64	759	9.5	163	398	198	198	72	9.5	64	88.9	1	1	12	3	45	3
65～69	1621	20.2	339	922	360	360	205	12.6	183	89.3	5	5	32	2	137	7
70～74	1850	23.1	143	1298	409	409	218	11.8	196	89.9	10	7	24	4	149	9
75～79	894	11.2	44	616	234	234	85	9.5	74	87.1	1	1	7	3	60	3
80～84	402	5.0	11	301	90	90	31	7.7	31	100.0	5	4	6	0	20	0
85～	95	1.2	1	77	17	17	8	8.4	8	100.0	0	0	1	1	6	0
計	8015	100.0	1454	4704	1857	1857	809	10.1	703	86.9	23	19	96	16	533	35
【女】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
30～34	29	0.2	24	3	0	2	5	17.2	3	60.0	0	0	0	0	3	0
35～39	60	0.5	47	7	6	6	4	6.7	4	100.0	0	0	1	0	3	0
40～44	1039	8.8	571	291	177	177	57	5.5	51	89.5	0	0	3	0	44	4
45～49	1348	11.5	340	579	429	429	54	4.0	51	94.4	0	0	9	0	37	5
50～54	1319	11.2	253	628	438	438	52	3.9	47	90.4	0	0	6	0	39	2
55～59	1422	12.1	243	726	453	453	51	3.6	43	84.3	0	0	5	2	32	4
60～64	1420	12.1	208	766	446	446	82	5.8	71	86.6	2	2	13	2	52	4
65～69	1923	16.4	241	1104	578	578	144	7.5	136	94.4	1	1	23	2	108	2
70～74	1950	16.6	117	1247	586	586	149	7.6	134	89.9	0	0	30	2	98	4
75～79	906	7.7	40	546	320	320	61	6.7	56	91.8	2	2	11	1	39	3
80～84	283	2.4	11	184	88	88	13	4.6	12	92.3	0	0	2	0	10	0
85～	59	0.5	2	38	19	19	2	3.4	2	100.0	0	0	0	0	1	1
計	11758	100.0	2097	6119	3542	3542	674	5.7	610	90.5	5	5	103	9	466	27

1- (4) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精検結果										
										胃がん 率(%)	うち早期がん 率(%)	良性隆起	潰瘍	その他	異常なし					
【男】																				
29～	70	1.1	35	31	4	1	1.4	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30～34	230	3.6	99	112	19	10	4.3	7	70.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1
35～39	545	8.6	186	313	46	25	4.6	22	88.0	0	0.00	0	2	2	0	0	0	0	0	6
40～44	819	12.9	188	517	114	26	3.2	20	76.9	0	0.00	0	4	4	0	0	0	0	0	17
45～49	1213	19.1	216	849	148	47	3.9	41	87.2	0	0.00	0	6	6	0	0	0	0	0	29
50～54	1215	19.1	180	818	217	42	3.5	40	95.2	0	0.00	0	6	6	1	1	0	0	0	31
55～59	1157	18.2	145	747	265	65	5.6	56	86.2	0	0.00	0	5	5	0	0	0	0	0	43
60～64	677	10.7	83	478	116	53	7.8	42	79.2	1	0.15	1	7	7	2	2	0	0	0	28
65～69	305	4.8	40	207	58	17	5.6	10	58.8	1	0.33	1	0	0	0	0	0	0	0	8
70～74	104	1.6	11	74	19	8	7.7	6	75.0	0	0.00	0	1	1	0	0	0	0	0	5
75～79	9	0.1	1	7	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	2	0.0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85～	2	0.0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6348	100.0	1184	4157	1007	294	4.6	245	83.3	2	0.03	2	31	31	3	3	0	0	0	181
【女】																				
29～	45	1.3	32	7	6	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	121	3.4	55	57	9	2	1.7	1	50.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1
35～39	363	10.3	176	147	40	6	1.7	5	83.3	0	0.00	0	1	1	0	0	0	0	0	3
40～44	518	14.7	164	262	92	10	1.9	9	90.0	0	0.00	0	2	2	0	0	0	0	0	7
45～49	692	19.6	159	412	121	15	2.2	12	80.0	0	0.00	0	3	3	0	0	0	0	0	9
50～54	768	21.8	135	478	155	15	2.0	14	93.3	0	0.00	0	2	2	0	0	0	0	0	11
55～59	560	15.9	103	338	119	20	3.6	18	90.0	0	0.00	0	5	5	0	0	0	0	0	13
60～64	323	9.2	45	211	67	6	1.9	5	83.3	0	0.00	0	1	1	0	0	0	0	0	4
65～69	87	2.5	14	55	18	6	6.9	5	83.3	0	0.00	0	2	2	0	0	0	0	0	2
70～74	40	1.1	6	26	8	1	2.5	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1
75～79	4	0.1	1	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	2	0.1	0	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85～	2	0.1	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3525	100.0	890	1999	636	81	2.3	70	86.4	0	0.00	0	16	16	0	0	0	0	0	51



1- (6) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	初診歴	1年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	胃がん		精検結果		その他	異常なし	
										率 (%)	うち早期がん	率 (%)	良性隆起			
【男】																
～29	76	0.5	38	34	4	1	1.3	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	1
30～34	254	1.7	110	122	22	12	4.7	9	75.0	0	0.00	0	0	0	0	1
35～39	578	4.0	208	321	49	27	4.7	24	88.9	0	0.00	0	0	0	19	3
40～44	1293	8.9	440	664	189	71	5.5	53	74.6	0	0.00	0	0	0	40	6
45～49	1828	12.6	385	1153	290	79	4.3	66	83.5	0	0.00	0	0	2	46	10
50～54	1897	13.1	358	1156	383	98	5.2	81	82.7	0	0.00	0	0	1	67	5
55～59	1826	12.6	287	1099	440	124	6.8	106	85.5	1	0.05	1	1	1	80	12
60～64	1452	10.0	248	887	317	127	8.7	107	84.3	2	0.14	2	5	74	7	7
65～69	1938	13.3	381	1135	422	222	11.5	193	86.9	6	0.31	6	32	2	145	8
70～74	1971	13.6	154	1386	431	226	11.5	202	89.4	10	0.51	7	25	4	154	9
75～79	912	6.3	47	628	237	85	9.3	74	87.1	1	0.11	1	7	3	60	3
80～84	410	2.8	11	309	90	31	7.6	31	100.0	5	1.22	4	6	0	20	0
85～	99	0.7	1	80	18	8	8.1	8	100.0	0	0.00	0	1	1	6	0
計	14534	100.0	2668	8974	2892	1111	7.6	955	86.0	25	0.17	21	127	19	719	65
【女】																
～29	47	0.3	33	7	7	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	150	1.0	79	60	11	7	4.7	4	57.1	0	0.00	0	0	0	4	0
35～39	432	2.8	228	157	47	11	2.5	10	90.9	0	0.00	0	2	0	7	1
40～44	1571	10.2	741	560	270	67	4.3	60	89.6	0	0.00	0	5	0	51	4
45～49	2062	13.4	503	1003	556	70	3.4	64	91.4	0	0.00	0	12	0	46	6
50～54	2097	13.6	390	1112	595	67	3.2	61	91.0	0	0.00	0	8	0	50	3
55～59	1997	13.0	346	1075	576	71	3.6	61	85.9	0	0.00	0	10	2	45	4
60～64	1762	11.4	255	991	516	88	5.0	76	86.4	2	0.11	2	14	2	56	2
65～69	2028	13.2	255	1174	599	150	7.4	141	94.0	1	0.05	1	25	2	110	3
70～74	1997	13.0	123	1277	597	150	7.5	135	90.0	0	0.00	0	30	2	99	4
75～79	924	6.0	42	556	326	61	6.6	56	91.8	2	0.22	2	11	1	39	3
80～84	290	1.9	11	188	91	13	4.5	12	92.3	0	0.00	0	2	0	10	0
85～	62	0.4	2	40	20	2	3.2	2	100.0	0	0.00	0	0	0	1	1
計	15419	100.0	3008	8200	4211	757	4.9	682	90.1	5	0.03	5	119	9	518	31

1- (7) 胃がん精検機関別精検受診数 (令和2年度)

	精 検 機 関			総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	140	1,172	1,312
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	140 ( 10.7 )	1,172 ( 89.3 )	1,312 ( 100.0 )
職 域	X線受診	0	1	1
	内視鏡受診	145	160	305
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	145 ( 47.4 )	161 ( 52.6 )	306 ( 100.0 )
検診友の会等	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	6	4	10
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	6 ( 60.0 )	4 ( 40.0 )	10 ( 100.0 )
合 計	X線受診	0	1	1
	内視鏡受診	291	1,336	1,627
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	291 ( 17.9 )	1,337 ( 82.1 )	1,628 ( 100.0 )

1- (8) 市町村別胃がん検診精密検査機関 (令和2年度)

市町村名	要精検数	精検受診数 (率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	20	20 ( 100.0 )	3	13	1	0	3
能勢町	26	21 ( 80.8 )	0	4	0	0	17
吹田市	97	87 ( 89.7 )	3	19	30	10	25
摂津市 (施設)	5	5 ( 100.0 )	1	0	2	0	2
摂津市 (施設)	2	2 ( 100.0 )	0	0	0	0	1
茨木市	5	3 ( 60.0 )	0	0	2	0	1
門真市	19	14 ( 73.7 )	3	1	4	0	6
四條畷市	18	17 ( 94.4 )	5	2	7	0	3
八尾市	112	108 ( 96.4 )	24	7	12	0	65
八尾市 (施設)	13	13 ( 100.0 )	5	3	0	0	5
柏原市	57	53 ( 93.0 )	8	16	4	0	25
柏原市 (施設)	4	4 ( 100.0 )	1	2	1	0	0
松原市	161	140 ( 87.0 )	27	1	49	2	61
羽曳野市	135	123 ( 91.1 )	8	24	33	32	26
羽曳野市 (施設)	1	1 ( 100.0 )	1	0	0	0	0
藤井寺市	117	105 ( 89.7 )	5	25	6	46	23
藤井寺市 (施設)	1	0 ( 0.0 )	0	0	0	0	0
富田林市	73	56 ( 76.7 )	1	2	37	1	15
太子町	31	29 ( 93.5 )	0	1	20	5	3
千早赤阪村	16	16 ( 100.0 )	2	6	8	0	0
河内長野市	36	31 ( 86.1 )	2	17	2	0	10
和泉市	24	22 ( 91.7 )	1	5	9	1	6
泉大津市	66	53 ( 80.3 )	1	28	9	2	13
高石市	51	40 ( 78.4 )	1	3	15	14	7
忠岡町	15	11 ( 73.3 )	0	2	7	0	2
貝塚市	70	65 ( 92.9 )	0	27	9	1	28
熊取町	45	38 ( 84.4 )	2	13	5	0	18
泉南町	53	48 ( 90.6 )	0	3	17	17	11
阪南町	117	103 ( 88.0 )	0	74	6	1	22
岬町	17	17 ( 100.0 )	0	6	7	1	3
大阪府	40	40 ( 100.0 )	24	3	5	1	7
大阪府国保 (トック)	4	3 ( 75.0 )	2	0	1	0	0
大阪府国保 (無料トック)	13	10 ( 76.9 )	5	0	1	1	3
大阪府国保 (特定トック)	19	15 ( 78.9 )	6	2	2	1	4
合計	1,483	1,313 ( 88.5 )	141	309	312	136	415

(註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 2- (1) 子宮がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

	頸部受診数		要精検率		精検受診率		頸がん		精検結果				がん症例の治療			39才以下の割合				
	体部受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	頸がん	体がん	(うち微小浸癌)	CIN3 異型増殖	CIN2・CIN1 複・単増殖	その他	異常なし	手術	非手術	微小浸潤癌	治癒切除	非治癒切除	結果不明	割合	初回
地域合計 (26市町村)	8607	142	1.6	126	88.7	4	3	3 (11)	13 (11)	33 (1)	65	11	3	0	0	0	0	1	12.1	68.9
職域合計 (104団体)	76	1	1.3	1	100.0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.6	71.1
検診友の会等合計	5397	130	2.4	122	93.8	1	1	9 (7)	36 (7)	64	12	1	0	0	0	0	0	0	32.0	73.7
	72	1	1.1	1	100.0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5.6	73.6
	568	8	1.4	7	87.5	0	0	2 (2)	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6.5	55.5
	26	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	26.9
総合計	14572	280	1.9	255	91.1	5	4	24 (20)	71 (1)	132	23	4	0	0	0	0	0	1	19.3	70.1
	174	2	1.1	2	100.0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3.4	65.5

註：( )内は、前がん病変で治療を受けたものを再掲。

2- (2) 子宮がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	うち 初回	判定					要精検	精検 受診数	精検 受診率 (%)	頸癌	うち微小浸 潤癌	精検結果			その他	異常 なし
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	LSIL (中度)						LSIL (高度)	LSIL (上皮)	SCC		
[頸部]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～19	356	356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～24	585	585	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～29	864	836	8	2	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～34	1001	889	18	2	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～39	1609	1377	25	2	7	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～44	1897	1467	30	0	11	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～49	1883	1216	17	4	10	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～54	1743	1087	14	1	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64	1455	863	11	3	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	1288	740	4	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	1223	573	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	502	185	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	130	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85～	36	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	14572	10221	140	18	59	29	14	5	3	10	0	0	0	0	0	0	0

年齢階級	受診数	うち 初回	判定		要精検	精検 受診数	精検 受診率 (%)	精検結果			その他	
			陰性	疑陽性				陽性	判定 不能	体癌		異型 増殖
[体部]	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
20～19	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
25～24	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
30～29	2	2	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
35～34	4	3	4	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
40～39	15	12	15	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
45～44	21	17	19	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
50～49	41	30	41	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
55～54	39	21	37	1	0	1	2.6	1	100.0	0	0	1
60～64	23	14	23	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
65～69	18	8	18	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
70～74	7	5	7	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
75～79	3	2	2	1	0	0	33.3	1	100.0	0	0	0
80～84	1	0	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
85～	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
計	174	114	169	2	0	3	2	1.1	2	100.0	0	0

註) ( )内は前がん病変で治療を受けたものを再掲示

2- (3) 子宮がん精検機関別精検受診数 (令和2年度)

地域	精検機関				総計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関			
域	頸部	51 ( 40.8 )	74 ( 59.2 )		125 ( 100.0 )
	体部	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		1 ( 100.0 )
職	頸部	81 ( 66.4 )	41 ( 33.6 )		122 ( 100.0 )
	体部	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		1 ( 100.0 )
検診友の会等	頸部	7 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		7 ( 100.0 )
	体部	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )		0 ( 0.0 )
合	頸部	139 ( 54.7 )	115 ( 45.3 )		254 ( 100.0 )
	体部	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		2 ( 100.0 )

2- (4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関 (令和2年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
能勢町	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
豊中市	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
摂津市	10 (0)	10 (0)	6 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
摂津市(施設)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
門真市	3 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
四條畷市	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
大東市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
八尾市	7 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)
八尾市(施設)	6 (0)	6 (0)	4 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市(施設)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
松原市	7 (0)	7 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市	11 (0)	11 (0)	1 (0)	6 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)
羽曳野市(施設)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
藤井寺市	4 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
藤井寺市(施設)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪狭山市	7 (0)	7 (0)	0 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
富田林市	9 (0)	8 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)	0 (0)	1 (0)
千早赤阪村	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
河内長野市	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
泉大津市	7 (0)	6 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
貝塚市	13 (0)	12 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)
熊取町	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
泉南市	4 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
岬町	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市	7 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪	24 (1)	22 (1)	21 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
合計	142 (1)	126 (1)	51 (1)	39 (0)	18 (0)	15 (0)	3 (0)

註) 公的病院に大学附属病院を含む  
 註) ( ) 内は体部

### 3-1 (1) 乳がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

	受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療		39才以下の割合	初回の割合				
						乳がん(うち早期がん)	線維腺腫	乳腺症	その他	異常なし			治癒切除	非治癒切除	結果不明	
地域合計 (28市町村)	12926	569	4.4	534	93.8	83	51	18	41	263	129	81	0	2	1.7	28.4
職域合計 (100団体)	4934	214	4.3	207	96.7	19	14	21	17	107	43	16	0	3	16.9	26.0
検診友の会等合計	926	32	3.5	32	100.0	7	4	1	2	18	4	7	0	0	11.8	15.8
総合計	18786	815	4.3	773	94.8	109	69	40	60	388	176	104	0	5	6.2	27.2

3- (2) 乳がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (%)	うち 初回	要精検数	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果					
								乳がん (%)	うち早期がん	線維腺腫	乳腺症	その他	異常なし
～29	243	1.3	155	4	1.6	3	75.0	0	0	1	0	2	0
30～34	366	1.9	171	9	2.5	9	100.0	0	0	0	2	7	0
35～39	559	3.0	214	21	3.8	19	90.5	0	0	1	2	13	3
40～44	2428	12.9	1367	125	5.1	119	95.2	6	3	7	10	72	24
45～49	2788	14.8	785	141	5.1	137	97.2	14	9	10	15	73	25
50～54	2688	14.3	649	144	5.4	137	95.1	17	9	7	12	66	35
55～59	2520	13.4	546	99	3.9	91	91.9	17	11	4	6	40	24
60～64	2125	11.3	428	78	3.7	76	97.4	15	12	4	2	36	19
65～69	1959	10.4	359	81	4.1	80	98.8	13	9	4	4	39	20
70～74	1960	10.4	282	65	3.3	58	89.2	13	10	1	5	27	12
75～79	849	4.5	119	38	4.5	34	89.5	12	5	0	1	9	12
80～84	233	1.2	27	9	3.9	9	100.0	2	1	0	1	4	2
85～	68	0.4	3	1	1.5	1	100.0	0	0	1	0	0	0
合計	18786	100.0	5105	815	4.3	773	94.8	109	69	40	60	388	176

3- (3) 乳がん精検機関別精検受診数 (令和2年度)

	精 検 機 関			総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	279 ( 52.1 )	257 ( 47.9 )	536 ( 100.0 )	
職 域	144 ( 69.6 )	63 ( 30.4 )	207 ( 100.0 )	
検診女の会等	31 ( 96.9 )	1 ( 3.1 )	32 ( 100.0 )	
合 計	454 ( 58.6 )	321 ( 41.4 )	775 ( 100.0 )	

3- (4) 市町村別乳がん検診精密検査機関 (令和2年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
池田市休日急病診療所	28	27 ( 96.4)	8	17	0	0	2
能勢町	10	10 ( 100.0)	6	3	0	0	1
能勢町(施設)	1	1 ( 100.0)	1	0	0	0	0
豊中	5	4 ( 80.0)	2	0	1	0	1
摂津	35	35 ( 100.0)	27	1	6	1	0
摂津市(施設)	4	4 ( 100.0)	4	0	0	0	0
島本	15	15 ( 100.0)	7	1	2	0	5
門真	10	9 ( 90.0)	8	0	0	0	1
四條	10	10 ( 100.0)	7	0	2	0	1
大東	9	9 ( 100.0)	9	0	0	0	0
八尾市(施設)	3	3 ( 100.0)	3	0	0	0	0
柏原	31	31 ( 100.0)	17	13	0	0	1
柏原市(施設)	6	6 ( 100.0)	5	0	0	0	1
松原	19	17 ( 89.5)	10	0	6	0	1
羽曳野	26	25 ( 96.2)	4	15	5	0	1
羽曳野市(施設)	8	8 ( 100.0)	7	0	0	0	1
藤井寺	25	23 ( 92.0)	10	9	3	0	1
藤井寺市(施設)	6	6 ( 100.0)	6	0	0	0	0
大阪狭山市	27	24 ( 88.9)	6	14	3	0	1
富田	14	14 ( 100.0)	1	0	12	0	1
太子	8	7 ( 87.5)	0	2	5	0	0
千早赤阪村	8	8 ( 100.0)	2	4	2	0	0
河内長野	31	30 ( 96.8)	4	17	7	1	1
泉大津	31	30 ( 96.8)	5	7	1	12	5
高石市(施設)	2	2 ( 100.0)	2	0	0	0	0
忠岡	2	2 ( 100.0)	0	0	0	1	1
熊取	21	20 ( 95.2)	4	15	0	0	1
泉南	30	29 ( 96.7)	8	18	0	0	3
岬	15	14 ( 93.3)	0	6	8	0	0
堺	25	9 ( 36.0)	5	1	3	0	0
東大阪	4	4 ( 100.0)	4	0	0	0	0
大阪	100	98 ( 98.0)	95	1	0	1	1
合計	569	534 ( 93.8)	277	144	66	16	31

註) 公的病院に大学附属病院を含む  
大阪府健康づくり課は、四條畷市・寝屋川市・門真市・八尾市・柏原市・東大阪市の乳がん検診として実施

### 4-1 (1) 肺がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

	受診数	X線 受診数	CT 受診数	喀痰該 当者数	喀痰提 出者数	要精検	要精検 (%)	精検受診	精検受診 (%)	がん症例の治療				
										肺がん	治癒切除 非治癒切除	非切除 結果不明		
地域 (17市町)	14146	14130	84	482	459	467	3.3	435	93.1	16	14	0	0	2
職域合計 (128団体)	11196	10881	767	265	240	284	2.5	254	89.4	4	4	0	0	0
検診友の会等 合計	644	371	277	18	18	27	4.2	25	92.6	1	1	0	0	0
総合計	25986	25382	1128	765	717	778	3.0	714	91.8	21	19	0	0	2

註) 本表には、労働衛生安全法に基づく定期健康診断、人間ドック等による胸部X線検査の受診者数(9,616)の結果を含む





5-1 (1) 大腸がん（便潜血）検診結果集計表

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

	受診数	陽性数	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療			39才以下の割合	初回割合			
						大腸がん(うち早期がん)	腺腫	その他隆起	憩室他異常なし	早期手術	ボリパク進トミニ治療切除			不明		
地域合計 (23市町村)	21621	1141	5.3	971	85.1	39	456	97	170	209	5	25	8	1	0.2	18.2
職域合計 (95団体)	9674	414	4.3	318	76.8	8	124	49	41	96	1	5	1	1	14.2	17.6
検診友の会等合計	327	16	4.9	14	87.5	0	4	2	1	7	0	0	0	0	14.1	16.8
総合計	31622	1571	5.0	1303	82.9	47	584	148	212	312	6	30	9	2	4.6	18.0

5- (2) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		精検 率(%)		結 腸 腫 瘍	その他 隆起	その他	異常なし	
										率(%)	うち早期がん	率(%)	率(%)					
【男】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	9	0.1	7	2	0	1	11.1	1	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0	0
35～39	10	0.1	9	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	468	5.7	271	134	63	21	4.5	15	71.4	0	0.00	0	0.00	9	2	2	2	2
45～49	599	7.3	159	299	141	16	2.7	11	68.8	0	0.00	0	0.00	4	0	4	3	3
50～54	632	7.7	158	318	156	34	5.4	26	76.5	2	0.32	2	0.32	14	1	4	5	5
55～59	630	7.7	133	340	157	30	4.8	20	66.7	2	0.32	2	0.32	8	1	5	4	4
60～64	724	8.9	166	407	151	42	5.8	37	88.1	1	0.14	1	0.14	22	2	5	7	7
65～69	1605	19.7	366	904	335	117	7.3	102	87.2	5	0.31	5	0.31	61	11	14	11	11
70～74	1929	23.6	176	1408	345	151	7.8	131	86.8	7	0.36	7	0.36	79	13	16	16	16
75～79	985	12.1	44	714	227	72	7.3	65	90.3	3	0.30	3	0.30	43	3	13	3	3
80～84	439	5.4	14	326	99	42	9.6	37	88.1	0	0.00	0	0.00	23	5	7	2	2
85～	135	1.7	3	109	23	16	11.9	13	81.3	0	0.00	0	0.00	9	0	2	2	2
計	8165	100.0	1506	4961	1698	542	6.6	458	84.5	20	0.24	16	0.20	273	38	72	55	55
【女】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	4	0.0	3	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	24	0.2	21	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	1036	7.7	614	267	155	38	3.7	30	78.9	0	0.00	0	0.00	6	0	6	18	18
45～49	1369	10.2	388	543	438	53	3.9	44	83.0	0	0.00	0	0.00	12	7	4	21	21
50～54	1374	10.2	287	648	439	63	4.6	55	87.3	0	0.00	0	0.00	17	6	13	19	19
55～59	1526	11.3	269	800	457	63	4.1	46	73.0	0	0.00	0	0.00	13	8	3	22	22
60～64	1646	12.2	279	919	448	60	3.6	51	85.0	3	0.18	2	0.12	23	6	8	11	11
65～69	2329	17.3	319	1444	566	108	4.6	101	93.5	5	0.21	1	0.04	46	8	23	19	19
70～74	2512	18.7	170	1750	592	119	4.7	102	85.7	6	0.24	6	0.24	37	15	20	24	24
75～79	1159	8.6	51	778	330	67	5.8	60	89.6	3	0.26	3	0.26	21	5	14	17	17
80～84	377	2.8	21	266	90	23	6.1	20	87.0	2	0.53	2	0.53	6	4	5	3	3
85～	100	0.7	8	65	27	5	5.0	4	80.0	0	0.00	0	0.00	2	0	2	0	0
計	13456	100.0	2430	7484	3542	599	4.5	513	85.6	19	0.14	14	0.10	183	59	98	154	154

5- (3) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	大腸がん		精 検 率 (%)		結 果 腺腫	その他 隆起	その他	異常なし	
										受診数	割合 (率)	受診数	割合 (率)					
【男】																		
30～34	85	1.5	35	48	2	4	4.7	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	170	2.9	54	104	12	4	2.4	3	75.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	3	0
40～44	485	8.4	134	316	35	16	3.3	14	87.5	0	0.00	0	0.00	1	3	0	0	10
45～49	723	12.5	138	503	82	16	2.2	14	87.5	0	0.00	0	0.00	5	1	1	7	0
50～54	1048	18.1	159	775	114	47	4.5	39	83.0	2	0.19	2	0.19	14	7	4	4	12
55～59	1073	18.5	142	792	139	44	4.1	31	70.5	1	0.09	1	0.09	15	4	4	7	0
60～64	1138	19.6	154	791	193	42	3.7	32	76.2	1	0.09	1	0.09	20	3	5	3	0
65～69	622	10.7	65	495	62	48	7.7	38	79.2	1	0.16	0	0.00	20	9	3	5	0
70～74	312	5.4	36	239	37	22	7.1	18	81.8	0	0.00	0	0.00	9	5	3	1	0
75～79	123	2.1	11	95	17	8	6.5	5	62.5	0	0.00	0	0.00	2	0	2	1	0
80～84	14	0.2	0	11	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
	5	0.1	1	3	1	1	20.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
	6	0.1	1	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
計	5804	100.0	930	4177	697	252	4.3	194	77.0	5	0.09	4	0.07	86	32	22	49	0
【女】																		
30～34	86	2.2	45	37	4	1	1.2	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	154	4.0	58	85	11	3	1.9	1	33.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1	0
40～44	392	10.1	143	207	42	21	5.4	11	52.4	0	0.00	0	0.00	1	1	0	9	0
45～49	549	14.2	147	334	68	25	4.6	21	84.0	0	0.00	0	0.00	3	5	4	9	0
50～54	746	19.3	123	512	111	34	4.6	22	64.7	0	0.00	0	0.00	7	3	3	9	0
55～59	794	20.5	109	568	117	35	4.4	30	85.7	0	0.00	0	0.00	7	6	7	10	0
60～64	648	16.7	87	459	102	22	3.4	18	81.8	1	0.15	0	0.00	11	0	3	3	0
65～69	332	8.6	34	252	46	14	4.2	14	100.0	2	0.60	2	0.60	7	0	0	5	0
70～74	105	2.7	14	80	11	7	6.7	7	100.0	0	0.00	0	0.00	2	2	2	1	0
75～79	57	1.5	10	35	12	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
80～84	4	0.1	0	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
	2	0.1	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
計	3870	100.0	771	2575	524	162	4.2	124	76.5	3	0.08	2	0.05	38	17	19	47	0

5- (4) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [検診友の会等]

対象検診期間： 令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		精検		結果		
										率 (%)	うち早期がん	率 (%)	腺腫	その他隆起	その他 異常なし	
【男】																
30～34	7	3.9	4	3	0	1	14.3	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	9	5.0	3	6	0	1	11.1	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	1
40～44	8	4.4	2	6	0	1	12.5	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	1
45～49	17	9.4	4	13	0	1	5.9	1	100.0	0	0.00	0	0	0	0	1
50～54	22	12.2	2	19	1	2	9.1	2	100.0	0	0.00	0	0	0	0	1
55～59	11	6.1	3	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
60～64	26	14.4	4	15	7	3	11.5	3	100.0	0	0.00	0	2	0	0	1
65～69	17	9.4	1	14	2	1	5.9	1	100.0	0	0.00	0	1	0	0	0
70～74	12	6.6	1	7	4	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
75～79	20	11.0	0	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
80～84	18	9.9	2	14	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
	11	6.1	0	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
	3	1.7	0	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
計	181	100.0	26	136	19	10	5.5	9	90.0	0	0.00	4	0	0	0	5
【女】																
30～34	4	2.7	3	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	4	2.7	4	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	14	9.6	9	5	0	3	21.4	3	100.0	0	0.00	0	1	0	0	2
45～49	11	7.5	2	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
50～54	19	13.0	5	12	2	1	5.3	1	100.0	0	0.00	0	1	0	0	0
55～59	9	6.2	2	5	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
60～64	14	9.6	2	11	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
65～69	15	10.3	0	11	4	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
70～74	17	11.6	0	17	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
75～79	14	9.6	1	10	3	1	7.1	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
80～84	18	12.3	1	16	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
	4	2.7	0	4	0	1	25.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
	3	2.1	0	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
計	146	100.0	29	102	15	6	4.1	5	83.3	0	0.00	0	2	1	0	2

5- (5) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間：令和2年04月01日～令和3年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 受診数	精 検 受診率 (%)	大腸がん		うち早期がん		精 検 率 (%)	結 果 腺腫	その他 隆起	その他 異常なし	
										大腸がん 率 (%)	うち早期がん 率 (%)							
【男】																		
～29	92	0.7	39	51	2	5	5.4	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	188	1.3	64	112	12	6	3.2	5	83.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	4
35～39	503	3.6	145	322	36	17	3.4	15	88.2	0	0.00	0	0.00	0	3	3	0	11
40～44	1208	8.5	413	650	145	38	3.1	30	78.9	0	0.00	0	0.00	0	3	3	3	10
45～49	1669	11.8	320	1093	256	65	3.9	52	80.0	2	0.12	2	0.12	0	7	7	8	16
50～54	1716	12.1	303	1118	295	78	4.5	57	73.1	3	0.17	3	0.17	2	5	5	8	12
55～59	1794	12.7	291	1146	357	75	4.2	55	73.3	3	0.17	3	0.17	3	4	4	10	8
60～64	1363	9.6	232	916	215	91	6.7	76	83.5	2	0.15	1	0.07	1	11	11	8	12
65～69	1929	13.6	403	1150	376	139	7.2	120	86.3	5	0.26	5	0.26	5	16	16	17	12
70～74	2072	14.6	187	1521	364	159	7.7	136	85.5	7	0.34	5	0.24	5	13	13	18	17
75～79	1017	7.2	46	739	232	72	9.1	65	90.3	3	0.29	1	0.10	1	3	3	13	3
80～84	455	3.2	15	340	100	43	9.5	37	86.0	0	0.00	0	0.00	0	5	5	7	2
85～	144	1.0	4	116	24	16	11.1	13	81.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	2	2
計	14150	100.0	2462	9274	2414	804	5.7	661	82.2	25	0.18	20	0.14	363	70	94	109	
【女】																		
～29	90	0.5	48	37	5	1	1.1	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	162	0.9	65	86	11	3	1.9	1	33.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	1
35～39	430	2.5	173	215	42	24	5.6	14	58.3	0	0.00	0	0.00	0	2	2	0	11
40～44	1596	9.1	763	610	223	63	3.9	51	81.0	0	0.00	0	0.00	0	5	5	10	27
45～49	2134	12.2	516	1067	551	88	4.1	67	76.1	0	0.00	0	0.00	0	11	11	7	30
50～54	2177	12.5	398	1221	558	98	4.5	85	86.7	0	0.00	0	0.00	0	12	12	20	29
55～59	2188	12.5	358	1270	560	85	3.9	64	75.3	1	0.05	0	0.00	0	8	6	24	25
60～64	1993	11.4	313	1182	498	74	3.7	65	87.8	5	0.25	4	0.20	4	6	8	8	16
65～69	2451	14.0	333	1541	577	115	4.7	108	93.9	5	0.20	1	0.04	1	10	10	25	20
70～74	2583	14.8	181	1795	607	120	4.6	103	85.8	6	0.23	6	0.23	3	15	15	21	24
75～79	1181	6.8	53	797	331	67	5.7	60	89.6	3	0.25	3	0.25	2	5	5	14	17
80～84	383	2.2	21	272	90	24	6.3	20	83.3	2	0.52	2	0.52	1	4	4	5	3
85～	104	0.6	8	68	28	5	4.8	4	80.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	2	0
計	17472	100.0	3230	10161	4081	767	4.4	642	83.7	22	0.13	16	0.09	221	78	118	203	

5- (6) 大腸がん精検機関別精検受診数 (令和2年度)

地	職	検査受診	精検機関			総計
			大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関	計	
域		X線受診	0	0	0	
		内視鏡受診	0	884	884	
		X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	87 971 ( 100.0 )	87 971 ( 100.0 )	
域		X線受診	0	1	1	
		内視鏡受診	1	315	316	
		X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	1 ( 0.3 )	1 317 ( 99.7 )	1 318 ( 100.0 )	
検診友の会等		X線受診	0	0	0	
		内視鏡受診	0	14	14	
		X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	0 14 ( 100.0 )	0 14 ( 100.0 )	
合	計	X線受診	0	1	1	
		内視鏡受診	1	1,213	1,214	
		X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	1 ( 0.1 )	88 1,302 ( 99.9 )	88 1,303 ( 100.0 )	

5- (7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関 (令和2年度)

市町村名	要精検査数	精検査受診数(率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	24	24 ( 100.0 )	0	20	0	0	4
能勢町	39	33 ( 84.6 )	0	8	0	0	25
吹田市	57	49 ( 86.0 )	0	11	16	5	17
摂津市	1	1 ( 100.0 )	0	0	1	0	0
門真市	11	7 ( 63.6 )	0	1	2	2	2
四條畷市	1	0 ( 0.0 )	0	0	0	0	0
大東市	4	4 ( 100.0 )	0	0	2	1	1
八尾市(施設)	17	15 ( 88.2 )	0	6	2	3	4
柏原市	52	46 ( 88.5 )	0	24	1	17	4
柏原市(施設)	8	6 ( 75.0 )	0	3	0	1	2
松原市	96	74 ( 77.1 )	0	1	37	22	14
羽曳野市	150	137 ( 91.3 )	0	22	46	59	10
羽曳野市(施設)	5	4 ( 80.0 )	0	0	1	2	1
藤井寺市	99	85 ( 85.9 )	0	16	7	52	10
藤井寺市(施設)	2	1 ( 50.0 )	0	0	0	1	0
太子町	25	23 ( 92.0 )	0	2	15	5	1
千早赤阪村	12	11 ( 91.7 )	0	5	5	1	0
千早赤阪村(施設)	1	0 ( 0.0 )	0	0	0	0	0
河内長野市	23	19 ( 82.6 )	0	8	7	0	4
泉大津市	107	88 ( 82.2 )	0	50	11	16	11
高石市	54	41 ( 75.9 )	0	11	15	12	3
貝塚市	45	41 ( 91.1 )	0	27	5	1	8
熊取町	34	28 ( 82.4 )	0	16	6	0	6
泉南市	51	40 ( 78.4 )	0	5	20	12	3
阪南市	76	63 ( 82.9 )	0	48	5	0	10
岬町	19	19 ( 100.0 )	0	4	14	0	1
大阪府	64	57 ( 89.1 )	0	14	7	15	21
大阪府国保(トック)	5	4 ( 80.0 )	0	2	0	2	0
大阪市国保(無料トック)	22	19 ( 86.4 )	0	3	6	7	3
大阪市国保(特定トック)	37	32 ( 86.5 )	0	10	13	4	5
合計	1,141	971 ( 85.1 )	0	317	244	240	170

註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 編 集 後 記

2020年初めから中国武漢市から端を発した新型コロナウイルス感染症Covid-19は未だ収束がみられず、3年目に突入しています。2021年から本邦も遅ればせながら始まったワクチン接種により、重篤化することはなくなりましたが、with coronaの生活を余儀なくされています。

さて、2020年（令和2年）度は、第2期中期経営計画（H29～R3）の4年目にあたります。その中で公益財団法人として、がんならびに循環器疾患の予防に関する、さらなる専門性の向上と受診者へのサービス充実に向けた効率的かつ効果的な事業の展開ならびに法人経営の自立化を目指しております。

施設におきましては、5がん（胃、大腸、肺、乳、子宮）を中心に、きっちりとした精度管理の下、がん検診を行うとともに、より低侵襲で根治できるよう、早期がん発見のために、造影エコー検査・大腸CT検査などの新たな検査法や子宮頸がん前がん病変のレーザー治療などの導入にも積極的に取り組んでおります。

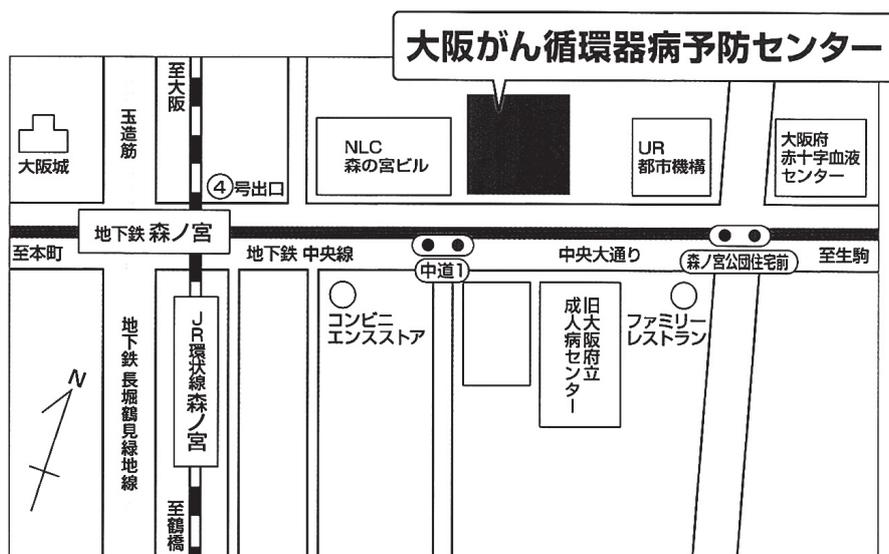
一方、健康で豊かな超高齢社会の実現に向けて、生活習慣病予備群の早期発見とその予防のための日常生活の指導が重要です。保健指導、特定保健指導を健診当日に受けていただけるよう努めてまいります。また、ビッグデータの解析を通じて、大阪府民の方々の健康寿命の延伸に役立つような情報の提供も行っております。

がん予防検診部門と循環器病予防部門が一体となり、精度の高い検診を行うための技術の向上、受診者に喜んでいただけるような温かい検診の提供に日々努めております。

私共の令和2年度の業績をまとめましたので、ご高覧頂けましたら幸いです。

令和4年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団  
大阪がん循環器病予防センター  
所長 伊藤 壽記



<交通>

- JR環状線「森ノ宮」下車 北出口
- 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口  
東へ徒歩2分

---

## 事業年報（令和2年度）

発行日 令和4年3月  
 編集・発行 大阪がん循環器病予防センター  
 〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号  
 TEL 06(6964)0666(代)  
 FAX 06(6964)0665  
 URL <http://www.osaka-ganjun.jp>

印刷所 石川特殊特急製本株式会社

ISSN 2188-0093

---

